大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可
康德六年（昭和十四年）十月二十六日
新京日日新聞 （木曜日） 第六千三十二號 （一）

新京日日新聞
夕刊
十月二十五日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二二〇 營業局專用（3）三三〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

獨和平工作を中止 對戰の氣構へ濃化
近く正式宣戰布告か

【ロンドン廿四日發國通】ヒトラー總統はいよいよこれ以上の和平工策を中止するに決意し恐らく來週ドイツ國會を召集し正式に英佛聯合國に對し宣戰を布告するのではないかと傳へられる、右に關し英國官邊筋では批評を避けてゐるが一般政界もさしたる印象を受けてゐない模樣で目的達成までは飽くまで長期戰の建前から戰爭を遂行する英佛兩國の斷乎たる決意にはいさゝかの變化もないと强調してゐる

日伊ソ三國と友好
ナチ黨員大會 獨外相の外交演說

【ダンチッヒ廿四日發國通】リッベントロップ外相は二十四日夜ダンチッヒの「シュッツェンハウス」における古參ナチス黨員大會に出席して戰時下ドイツの對外政策につき重大演說を行つたが右演說中特に日伊ソ三國との親善關係を强調左の如く述べた

ドイツと一方地中海においてはイタリー帝國と、他方極東においては日本との間に眞摯なる友好關係が存續してゐる、この友好關係は過去において三國間の利益を增進し來つたが將來においても一層公正にして合理的なる世界秩序の貴重なる保障となるであらう、獨ソ不可侵友好條約の締結によつて獨ソ兩國間の國交は完全に改變を見ることゝなつた、兩國の傳統的親善關係は將來において一層緊密なものとならう、兩國間の死活的な利害關係は何等衝突するものでなく領土問題に關する意見の相違は當に不可能事であらう

英船又擊沈さる

【グラスゴー廿四日發國通】廿四日當地に達した報道によれば英國汽船クランチスホルム號（七、二五六トン）は大西洋上において擊沈された、おそらくドイツ潛水艦の襲擊を受けたものと見られる

【オスロー廿四日發國通】廿四日ノルウエー政府當局の報ずるところによれば英國商船ストーンゲート號（五、〇四四噸）は中部大西洋上においてドイツ袖珍戰艦ドイッチエランド號に襲擊され沈沒したといはれる

ソ聯、芬蘭會談再開
又も難關に逢着の模樣

【モスクワ廿四日發國通】ソ聯、フインランド交涉再開のため廿三日午前モスクワに到着したパーシキビー公使以下フインランド代表團は同日午後六時クレムリン宮にモロトフ外務人民委員を訪問、十日ぶりに會談を開始したが、二時間半の後同日午後八時半一先づ第一次會談を終了、次いで午後十一時半第二次會談に移り、會談は夜半過ぎに及んだ、確聞するに會談席上ソ聯側より新要求が提示された模樣で、會談は又もや難關に逢着し、フインランド代表團は本國政府に請訓のため廿四日夜特使をヘルシンキに急行せしめることになつたといはれる、但し右特使のモスクワ出發時間は不明であるが、何れにせよフインランド政府の回訓到着まではソ聯、フインランド會談は中止の已むなきに至つた

南滿鐵道戰歿勇士慰靈祭（樂化驛で十七日擧行）

獨ソ進出に備へ
バルカン中立ブロック結成か
伊太利を盟主とする

【ブダペスト廿三日發國通】英佛および獨ソ兩陣營のバルカン爭奪戰がいよいよ熾烈化すると共にイタリーを盟主とするバルカン中立ブロック結成の氣運が漸次昂りつゝあるがイタリー政府は目下ユーゴースラヴイアおよびハンガリー兩國と連絡し獨ソ兩國のバルカン進出を阻止すべく、いよいよ東南歐中立ブロック結成に乘出しムソリーニ首相は來週あたり東南歐諸國首腦をローマ乃至ベルグラードに招致しバルカン中立會議を開催する意向と傳へられてゐる、一方當地のバルカン諸國の外交團方面でもバルカンの中立を飽くまで確保せんとするイタリーの努力を多として左の如く述べてゐる

イタリーの意圖は同國がハンガリーおよびルーマニア兩國を說得して國境から軍隊を撤退せしめた事實によつても確認されることである更にイタリーは最近ギリシヤとの國境から撤兵すると共にユーゴースラヴイアとの間にも友好關係を維持してゐる

なほルーマニア各紙もバルカン中立ブロックの結成を謳歌しルーマニアはイタリーとの協調に多大の期待をかけてゐる旨强調してゐる

その日く

今年の省次長會議が潑剌たるものであつたことは喜んでよい

□

だか些か地方青年代表の辯論大會みたいな感はなかつたであらうか

□

これを協和會全聯に於ける各民族の、國民代表としての叫びと比較せよ

□

官吏的見解の狹さ、その視野と利害觀に局限の存することと露はでなかつたか

□

區長、町會長をそれらしいものにせよ、まことに組織からも、人間的にも！

新滿拓の總裁
二宮氏内定

日滿開拓國策掉尾の締くゝりといふべき滿拓、鮮滿拓の統合に關しては既に滿洲側においては過般、統合時に於ける細部に亘る檢討が行はれ、日本側に廻附、日本側において改めて來週開催さるべき拓政審議會に附議最後的妥結を得るものと豫想されるが、右統合問題に關聯し、明年四月創設さるべき新滿拓の總裁問題は屢報の如く現鮮滿拓二宮總裁に決定すべく、坪上現滿拓總裁は國策開拓事業に對しその根底を確立するといふ大偉業を定遂し圓滿勇退するものと見られてゐる、右に關し坪下總裁は左の如く語つた

自分の畢生の御奉公と考へてゐた開拓國策が豫想外の飛躍裡に益々發展擴充されて行くことは眞に欣快此の上もないと思つてゐる、自分の辭職が各方面で頻りに傳へられてゐるが、目下のところ辭表など出してゐないことは事實で、若し左樣なことが流布されてゐるとすればそれは何かの間違ひだ、然し將來のことについてはこれは言明の限りでない、明日の身もわからぬお互だから

と卒直に心境を述べ、意味深長な一問を織り混ぜて語つた

佛砲艦漢口引揚

【漢口廿四日發國通】英國軍艦引揚に倣ひ漢口詳泰馬頭に繫留中であつた佛砲艦タユール號は愈々來る一日わが海軍の警護下に六十名の陸兵を乘せて下江安南に向ふことゝなつた、尙今後は百餘名の陸兵と十四名の海兵が佛租界の警備にあたる模樣である

共同綱領の制定等
中共黨から蔣に要求

【香港廿五日發國通】重慶來電によれば中國共產黨は最近陝西省延安で開催された中國共產黨中央政治會議の決議に基き蔣介石に對し左の事項を含む重要提議を行つたと傳へられる、即ち

一、徹底的抗戰遂行のため共同綱領の制定
二、統一的國防政府の設立および長期抗戰に對する中國共產黨綱領實現を企圖する諸方策の制定

である、なほまた中國共產黨は陝西、甘肅、寧夏西北各省に亘る特別行政區の擴張を要求したとも言はれ重慶政界は紛々たる論議が捲起されてゐる、共產黨は前記要求貫徹のため極力第三インターに援助を求めると同時に重慶政府當局に對しては黃河北岸地區の共產軍主力に陝西、甘肅、寧夏等に引揚げ命令を發する意向をほのめかしこの要求が重慶側に受諾されぬ場合共產黨は重慶に對し絕緣を宣命、共產軍の移動を斷行する旨恫喝を行つてゐる、この要求に重慶政府は極度に憂慮し首腦部は混亂して情勢收拾の方策なく全く苦惱狀態を露呈してゐる

毛澤東の爆彈宣言
國共兩黨關係危機へ

【香港廿五日發國通】毛澤東の爆彈宣言は重慶政界に一大衝動を與へてゐるが、各方面の意見を綜合するに毛澤東の深謀は明かに重慶政府の深まりゆく政治的危機を如實に暴露してゐるものとみてゐる、すなはち毛澤東は大膽率直に

中國共產黨は現在の情勢が要求するならば共產黨獨自の使命に基き歷史的方向轉換を決意するであらうと述べ、國民黨が和平か抗戰か何れの道を選ぶともその態度如何によつては原則的提携を放棄する意向なることを表明したのである、當地關係方面では毛澤東の言葉を引用し共產黨が抗戰段階における國民黨のヘゲモニー容認を最早拒絕するものであるとし共產黨の牢固たる決意は國民黨と同等の立場において一歩も退かないであらうと解してゐる、元來國共の合作は根本的に脆弱性を包藏し、國民黨元老派およびCC團は當初より共產黨の陰謀を阻止する運動を續けてゐたものであるが、過去の抗戰段階においては遺憾ながら共產黨のために理論的に窮境に陷れられてゐた、しかるに歐洲戰爭勃發しソ聯軍がポーランドに侵入バルチック諸國に進出した結果支那一般民衆のソ聯および支那共產黨に對する不信用が增大するに及んで元老派の理論的根據も好轉し强力なる反擊を開始し一方歐米派もまた第三國の調停による日支紛爭の和平解決の計畫にますます力を傾けるに至りますます兩派間の和解を不可能ならしめ遂に今回の爆彈宣言となつたものである、もつとも共產黨が都市經濟機構の喪失とその主張になる抗戰地域におけるゲリラ戰の無效により抗戰第二段階で著るしい困難に逢着してゐることも見逃し得ずいづれにしても既に最後の切札は中國共產黨によつて投げられたものである、而して現在の情勢が餘りに重大且つ複雜なるため早急に將來を斷定することは極めて困難である、蔣介石自身も表面は徹底抗戰を叫んでゐるが内心は和平及び抗戰兩樣の場合に處すべき立揚を考慮しつゝあると見られるが毛澤東の爆彈宣言の結果として國共兩黨の關係が最大危機に直面したことは疑ふ餘地がない

市民講座
結核の常識と冬の保健生活（下）

滿洲結核豫防協會主事 原新太郎

結核豫防の正體

結核の豫防とは、現に自分の體内に棲息してゐる結核菌を、自分の健康力に依つて抑壓してゐるその狀態を、將來も持續させて行くことに他ならない。だから結核病にならない要心は、結核を抑へてゐる健康力を低下させない要心に他ならない。外部からの暴滿闖入などゝいふことは、臨機に意識的に防げるのである例へば重症患者に接近した場合にその咳の飛沫を避けるとか、患者の略痰に注意するとかに依つて充分である。然らば結核を抑壓する健康力を、把持增進する爲の保健生活とは何か、それは、新鮮な空氣、紫外線に富む日光、合理的なる榮養—この自然の三大恩惠を我等の生活の中に充分取り入れて、適度の運動と休息と、そして明朗な精神を以て規律正しい生活を送ることである。之が結核豫防の眞髓であり、結核治療の妙諦である。

滿洲の冬と結核

滿洲の結核は、世界有數の結核國である、日本より約八割も多いと學者は推定してゐる。そして之は自然の三大恩惠を受け入れにくい、長い冬の蟄居生活が最大原因であると言はれてゐる。日本と滿洲の結核死亡數を月別に比較して見ると、日本は梅雨期明けの酷暑八月が一番多く、滿洲は長い冬期生活の終り四月が一番多いのである。

今、我々の眼の前に、その冬が近づいてゐるぞ。

惡い生活態度

成程、滿洲の冬の寒さは嚴しい。然し寒さそのものは決して毒ではなく、外國などではもつと寒い高山に結核療養所を設けて成功してゐるし、又日本に於ける結核死亡は冬が一番少いのを見ても寒さが惡くないのが解る。

寒さに慣れば寧ろ健康を增進して呉れるのである。惡いのは寒さに對する人間の生活態度である。

日光も、新鮮な空氣も、大自然の恩惠に變りはない。それなのに、あゝそれなのにである。人々は屋内に蟄居し、窓を〆切り目張りをし、新鮮な空氣と紫外線に締出しを喰はせ、石炭を無茶に焚いて煤煙で空を曇らせ日光を吸收遮斷し、おまけに煤煙を降らせて外出を妨げる。榮養の方面で野菜の少い位は、海藻類や豆のもやし等代用品が利くが日光と空氣に代用品はない。滿洲の締切つた室内空氣は、内地に比較して五倍乃至三十倍も炭酸ガスや、塵埃で汚れてゐるといつたから、そこで約半年近くもうごめいて居れば、結核かのさばり出すのに當り前でせう！と唄ひたくなるのである。

石炭か、健康か？

こゝで「一寸待つて呉れ」と登場するのは、今日の人氣者採暖期の設定と石炭の節約問題である。そこで考へて居ることを率直に述べると、先づ之は一見「低溫生活運動」に合致するかの如く見えるが保健的に分析すると大變違ふのである。即ちその指導者達が奬勵する保溫の爲の目張りをした十六度の室内と、時々南の窓を開放して新鮮な空氣と日光を迎へ入れて尙十六度を保つ室内とは、天國と地獄の相違がある、此頃のやうに六疊に四五人も立籠らねばならぬ冬に於てをやである。石炭が無ければ家の中で毛皮を着てもボロを澤山脊負つても是非南窓の目張りは止めて貰ひたい。完全燃燒の焚方を徹底的に指導するのは大贊成である。次に採暖期であるが、段々寒くなるのを我慢させる十月はいゝが、餘寒尙嚴しい四月を殘して急に止めるのは餘り非科學的ではなからうかガラスのコップでも急に冷却すると割れる。之は一定の溫度を定めて、低溫日はラヂオかサイレンで、採暖許可の通報をするやうな工夫はないものか？

兎に角採暖期の設定が、壽命截斷礎の證據にならぬやう老婆心からの暴言である。毎年「目張りを止めませう」と宣傳された市民か、如何に非常時とは言へ「目張りをしませう」では迷はざるを得まい石炭か、健康か、此際權威ある指導理論の確立統制を切望する。

誰も異論のない冬の保健法は、防寒具に身を固め努めて戸外に進出することで、之こそ結核豫防の無手勝流である（一〇、二三）

人事往來

着京

▲石場文太郎氏（實業）二十四日來京ヤマトホテル
▲山崎善次氏（會社員）同
▲武宮彥治氏（同）同
▲岸高武氏（同）同
▲矢田茂氏（同）同
▲古川淳三氏（同）同
▲山内彥四郎氏（工業）同
▲岡崎熙氏（會社員）同
▲鴨川良範氏（滿洲鐵業工廠）國都ホテル
▲中島貞雄氏（會社員）同
▲山口忠三氏（滿洲鑛業會社事務）同
▲山本安雄氏（會社員）同
▲弓場俊文人氏（營口紡織）同
▲松浦恒藏氏（會社員）同
▲鈴木鐵男氏（貿易商）同
▲小松良平氏（東洋キヤリヤ會社）内
▲平野彥兵衛氏（同）同
▲細島操氏（會社員）大都ホテル
▲小谷巖氏（商業）同
▲高木矩一氏（親和貿易）同
▲三笠瀧三郎氏（請負業）同
▲佐藤清氏（會社員）同
▲大久保鐵二氏（同）同
▲小山良樹氏（福昌公司）同
▲田中三郎氏（映畫監督）同
▲溝口健二氏（同）同
▲石山稔氏（同）同
▲小林勝氏（同）同
▲熊谷元郎氏（同）同
▲内田吐夢氏（同）同
▲宮永武男氏（滿鐵社員）同
▲佐藤忠吉氏（營口專賣署副署長）三國ホテル
▲堀善雄氏（滿化會社重役）廿五日來京ヤマトホテル
▲江橋貞二氏（横河橋梁製作所重役）滿蒙ホテル
▲岩崎盾夫氏（同）同
▲武渡榮氏（同）同
▲深川鷹麿氏（日本SKF與業會社重役）國都ホテル
▲眞子重路氏（金州内外綿會社支店長）河

出

▲三浦警護總監 廿五日午後零時三十分哈爾濱へ
▲二宮滿鮮拓殖理事長 同午後六時五十分與京城へ
▲西村總左衛門氏（貿易業）同午前八時十分哈爾濱へ
▲龜山一二氏（外務局政務處長）同午前八時十分發内地へ

儀峨部隊の活躍は日本陸空軍の華

永久に青史を飾らん

國境制空の華として植田前關東軍司令官より感狀授與の榮譽に浴した儀峨部隊は第一次ノモンハン事件發生以來儀峨部隊長の隷下に屬し先づその戰闘飛行隊を以て越境ソ蒙機を邀撃その出鼻をくじき五月二十八日の大空中戰には一擧四十二機を擊墜して萬丈の氣を吐いた、續いて第二次事件の發生を見るや部隊長は幕僚を率ゐて〇〇に作戰本部を開設、隷下爆擊、偵察、戰闘各隊を指揮して闘志滿々凛然たる親鷲振りを見せた、殊に六月廿七日に於けるタムスク進攻作戰を始め敵機甲部隊重砲並に高射砲陣地に對する爆擊及び戰闘隊の果敢奮迅の活動さては偵察隊、輕爆隊の密接的なる空地直協等、儀峨部隊の活躍は今次事件に於ける日本陸空軍の華と謳はれ、その擊墜敵機の一千機突破の記錄と共に永久に青史を飾るものである

猛鷲將軍の異名

部隊長自ら戰闘を指揮

植田大將より感狀を授與された儀峨徹二部隊長は陸士十九期の出身福井の人で本年五十五歲、その漆黑のカイゼル髯に相應しい豪腹濶達の親鷲である、今次事件の第二次勃發と共に急遽〇〇に飛ぶやその統率振りは平生と異なるところなく作戰の一切は幕僚まかせの悠々たるところを見せたが、一度進攻作戰の開始せられるや自ら編隊群長となり爆擊、戰闘兩隊を指揮誘導して全軍の士氣を鼓舞した、然も戰略偵察に當つては自ら司令部所屬機に搭乘幕僚も舌を捲く程の大膽緻密の偵察飛行を敢行するなど日本空軍始まつての猛鷲將軍の異名を馳せた【寫眞は儀峨部隊長】

儀峨部隊長

感激して語る

【〇〇廿四日發國通】今次ノモンハン空中戰において一千百數十機擊墜の勳功畏くも上聞に達し赫々たる榮譽に輝く儀峨部隊を〇〇に訪ねこの榮譽を齎せば部隊長は感激に面を輝かせ左の如く語つた

今回の榮譽は部下がよく協力一致して與れた賜物であつて戰死した部下の英靈に對し今更の如く痛惜を禁じ得ないとゝもに謹んで心からなる弔意を捧げるものである、この榮譽に定めし地下の英靈もともに感泣して居ることゝ思ふ

なほ儀峨部隊長は支那事變勃發と同時に北支最初の空中戰に參加し赫々たる武勳を樹て一時內地へ歸還更に〇〇基地に猛訓練中圖らずも今次ノモンハン事件の勃發となり參加陸鷲の大半を率ゐて不滅の戰功を刻んだものである

感狀全文

【東京國通】儀峨部隊に授與された感狀左の如し

感狀

儀峨部隊司令部
板花部隊主力、下野部隊主力
松岡部隊主力、大塚部隊、青木（武）部隊、その他配屬部隊

右は部隊長儀峨徹二の指揮に屬し昭和十四年六月中旬外蒙軍再度越境するやタムスク、サンベースに集中し在りし敵航空部隊に對し興安北省へ先進して北進を開始せる時恰も酷暑雨期に際會しありしに拘らず克く炎熱に堪へ不良なる天候を克服しつゝ更に整備する敵に對し空地勤務部隊の緊密不離の協同の下に必勝の信念と不屈の攻擊精神とを以て、或は敵地に進攻してその根據を襲ひ、或は廣地域に亘る執拗なる敵機の潛入を適時邀擊する等絕えず積極果敢なる攻擊を斷行し六月廿二日より九月五日に亘る凡そ二ケ月半の期間に凡そ百回の空中決戰を交へ敵機一千百四十三機を擊墜して赫々たる戰果を收め地上作戰に寄與するところ深大なるものあり、特に六月廿七日及び八月廿一日集團がその主力戰爆協同の下に實施せる進攻作戰に於て各約百機の敵機を擊墜したるが如き或は戰闘中彈雨を侵し身を挺して敵地に着陸し隊長僚友を救出するなど數次彼我監視の間犧牲的精神を最高度に發揚したるが如き或は戰隊長以下約百五十名の空中勤務者の戰死傷者を出したるに拘らず益々士氣を振作し愈々必勝の信念を堅持し連日攻擊に敵機攻擊を以てし完全に敵を壓倒慴伏せしめたるが如き或は地上勤務部隊が凡る困苦を排除し不眠不休の努力を續け空中部隊戰力の發揮に寸毫の遺憾なからしめたるが如きその武功拔群にして眞に皇軍航空部隊の龜鑑とするに足る、これ畢竟平生における訓練精到にして必勝の信念を策として居る航空部隊の統帥宜しきを得各飛行隊長以下の指揮時宜に適したると部隊の團結鞏固將兵の士氣極めて旺盛にして滅私奉公の大義に徹し全體一致その任務に邁進したることによるものにして皇軍航空部隊の威武を中外に宣揚したるものと認む、依つて玆に感狀を授與す

昭和十四年九月五日
關東軍司令官 植田謙吉

値段は少々高くても野菜は切らさぬ

貯藏會社冬に備へる

國都の冬季間に於ける蔬菜類の消費量は一萬一千二百五十噸（三百萬貫）と言はれてゐる、市當局ではこれが自給自足の見地に立つて計畫を進め着々諸般の整備を見つゝあるが、本年度の貯藏量は既報の如く三百噸を目指してをり新らたに貯藏庫を設置して農村地區にあつては貯藏に大童活動中である、然し本年度は旱魃に祟られ蔬菜飢饉を現出し多季間市民の蔬菜需要を自給自足によることは不可能で、必然的に他地方から補給を仰がねばならなくなつた、この實狀に鑑み貯藏會社ではかねてから各方面に注文蔬菜の買ひつけに活躍しつゝあつたが注文品は早くも各地からどん〳〵入荷され驛頭は蔬菜の山を築き結氷期間の蔬菜缺乏期に萬遺憾なきを期せられてゐる、本年度の補給量は

白菜五十車、キャベツ十車（北滿方面より）午蒡十車
馬鈴薯五車、大根三車（南滿方面）

で、いづれも國內產、これを噸數に換算すると一車二十噸として千四百六十噸と見られてゐる、値段は物價の全面的暴騰によつて昨年より五割方の騰貴、臺所經濟に影響するところ亦頗る大である

亞細亞防共懇談會

第三次を國都で

來月中旬に開催決定

獨ソ不可侵條約締結以來歐洲の一般的情勢は全く複雜微妙を極め、その將來を豫想し得ざる狀態となつて來たが、わが滿洲國では飽く迄日滿不可分一體關係を堅持し、國是として防共の根本精神には何等變りなく一路東亞新秩序の建設に邁進することゝなつてゐるが、二十五日より東京に於て開催された亞細亞防共懇談會は第二次を大阪で開催し、第三次を十一月中旬國都新京で盛大に開催することとなつた、防共盟邦代表は十一月十一日に新京に到着協和會、外務局の斡旋で第一次、第二次と重複を避け東亞新秩序建設の據點地滿洲國の特殊事情を高揚し、東邦諸國は勿論歐洲の盟國も參加して防共の一大狼火をあげる譯である

張總理の祝電

廿五日から東京において開催の亞細亞防共懇談會に對する張國務總理の祝電左の如し

亞細亞防共懇談會の開催に際し、亞細亞諸國締盟の實を擧げ、有終の成果を收められんことを祈る

國務總理 張景惠

協和會から祝電

廿五日から東京において開催の亞細亞防共懇談會に對し協和會では本部長の名を以て左の如き祝電を發した

謹みて亞細亞防共懇談會の開催を祝し御隆昌を祈る

滿洲帝國協和會中央本部長 橋本虎之助

訪日國婦一行けふ歸京

戰時下盟邦日本の姿を視察すると共に日滿兩國防婦人會の交驩を行ふ爲に渡日した滿洲國婦訪日團一行廿六名は目的を充分達して二十五日午後零時三十分新京驛着列車で多數會員の出迎へを受けて歸京した【寫眞は驛着の一行】

配達はお斷り

かけそば、うどんは

小麥粉不足でもチトひどい

忍び寄る酷寒に石炭、米、小麥と何れも不足を來してこの寒空にぶる〳〵、ペコ〳〵の大恐慌二重奏に見舞はれてゐる國都市民の苦痛を外に「儲けがないから」とかけそば、うどんの出前を拒絶してゐる「そばや」が出來てきた、即ちダイヤ街某そばやでは小麥粉配給不圓滑を理由に二週間前よりかけそば、うどんの出前註文を片ッ端しから蹴飛ばし天婦羅そば、鍋燒うどんなら配達しますと口上を述べるのでサービス觀念の缺如した商店だと非難の聲囂々たるもので、中央通署保安係ではこの匪時節柄をも辨へず利一方に走る店の主人を呼び出し何等かの處分をなすことゝなつたが、他業者にもかゝる不法行爲あるやも圖られず調査し萬一あれば斷乎鐵槌を下すことゝなつた

鐵筋賣つて

二千圓儲ける

經濟警察の活動によつて諸物資の買占め賣惜しみの嚴重取締りつゝある折柄、順天署司法係で闇取引の奸商を摘發した、河北省生れ、市內小五馬路北市場四號居住古物商福泰鐵工行主黄炳義（二四）は去る十六日市內永昌路六〇一土木請負業小林秀氏から鐵筋七噸を四千四百八十圓で購入、これに一噸を加へ十九日自宅に於て八噸を六千五百圓で市內長通路七七號三笠工業所新京營業所長野秀駿氏に賣却したのを順天署司法係員が探知したが、黄は早くもそれと知つて姿をくらまし鋭意所在搜查中のところ二十四日午前九時自宅に舞戾つたところを有無を言はさず逮捕した、目下嚴重取調中であるが、黄は物資缺乏につけ込み闇取引によつて不當の利益を貪らんとして賣買した即ち暴利取締令第二條第一項に違反したものである

全滿商工公會總會

來月七日、八日開催

新國際情勢に即應し、轉換期にある滿洲統制經濟の調整を要望されてゐる際大いに注目されてゐる全滿商工公會招集、新京商工公會の主催で十一月七日、八日の兩日に亘り滿鐵社員俱樂部で開催されるが議事日程は左の如く決定した

◇第一日（十一月七日）午前九時三十分開會 開會之辭 新京商工公會長▲訓辭 經濟部大臣、產業部大臣▲挨拶 新京特別市長▲記念撮影▲指示事項 經濟部商務司長、產業部工務司長▲特別講演 經濟部次長又は產業部次長▲經濟部大臣、產業部大臣共同招待晚餐會

◇第二日（十一月八日）午前九時開會 各商工公會提案事項審議▲特別講演 產業部次長又は經濟部次長▲閉會之辭 新京商工公會長▲新京商工公會招待晚餐會

國防獻金

新京料理店組合婦人從業員

二十四日午後濱田四道街警察署長から左の通り獻金寄託があり二十五日所定の手續きを了した

新京料理店組合國防婦人會康德分會支部

右之者康德六年十月二十三日一日一錢貯金として九月分金一百二十五圓二十錢を皇軍將兵に對する感謝の印として國防獻金としたき旨當署に申出たるに付き貴社を通じ右獻金手續方相煩度及依賴候也

壽美子さんも

小遣を獻金

銃後の守りに參加しませうと母さんから聞かされた新京賽場第十馬九號厩舍有吉二郎氏令孃壽美子さん（十二）は每日のお小遣を貯めて金十七圓也を本社に持參して國防獻金にと差出したので、この感心なお孃さんの意志を喜び本社では直ちにその手續を取つたこれで國防獻金は三回目だと云ふ非常時少女である

防火に就て（三）

首都警察廳保安科長
新京消防後援會幹事長 趙萬斌

四、通報連絡の方法を研究し置くこと 消防署非常電話（一一九番）警察署、派出所、電業營業所、瓦斯會社の電話番號等要すれば其所在地を熟知し置くことが必要であります、家屋內に高壓電線があれば消防注水不能となり瓦斯の漏洩も行動困難となりますし又近隣に知らせること、非常警報器を準備する事等が必要と考へます、非常警報器は防犯關係にも是非共用意して戴きたいので有ります

五、消火器材を整備し置く事 大建築物に在りましては私設消火栓、一般家庭に於いては輕便消火器や護謨ホース、川砂を準備するとか、水桶、水かめ、バケツ等を用意して常に滿水して置く事であります殊に水かめは腐蝕の心配なく又輕便消火器は油類電氣等の火災にも有效で、半永久的で運搬に便であります、其外金魚鉢に金魚の飼育をやるのも部屋の裝飾と趣味と防火と一擧三德だと考へます

六、爆發性危險性の物品の整備を常に怠らぬこと 爆發、又は燃燒し易き物品を整備し不用品は賣却することであります、殊に燃え易き物品を屋上、軒下、屋根裏等に蓄積して在る家は市內到る所に在ります、果物店、雜貨店、指物屋（家具製造所）等に於て甚しいのであります、危險品取扱藏置に就いては取締規則を遵守して下さい

七、非常口及避難器具の完備 滿洲では表入口はあつても勝手口の無い家や、引開き出入口を持つた家屋が多數散在して居るのであります、各階に五家族以上居住する建築物等に於いて、屋外の非常階段の設備も無く、唯一の屋內階段を使用して居るのや、其上中二階を構造して居る家も少なくありません、この中二階は非常に消防の妨害になるばかりでなく、避難の方面から見ても危險至極であります、又避難器具を準備したところは皆無と言つても宜い位であります、デパート、病院ビルヂング、大旅館等では避難救助幕を其他一般（二階以上の建物）には非常梯子、避難綱、又は屋上より隣家に接續する懸橋等を是非共設備して戴きたいのであります最近の治安全き新京市內に於て未だ多數の鐵格子家屋の殘存するのを發見するのであります此等は有事の際に避難し、又は家財を屋外に搬出するために窓を利用することを知らぬ人々であります、之を破壞し除去するには數分間を要します、消防の火事場の一分間は非常に重大なものであります表口、非常口近くに毒瓦斯彈が落下し、又は燒夷彈のため炎上したる場合を御想像下さい

惡馬車夫

客の物を持逃げ

三笠町四丁目七永利春一郎（二八）さんは二十四日午前十時頃日本橋通で客馬車を待たせ滿洲綿業聯合會で用談中に同客馬車座席上に置いてあつたゴルフ用ヘッド（時價三百圓）をそのまゝ持ち逃げされたが屆出に依り朝日通派出所塚本警長は同氏が下車の際に見覺えてゐる車夫番號に依つて馬車組合を調査、東三道街門牌一六五號張和（三四）なることを確めたので同日午後四時張の自宅に張込み歸宅して來た張を檢擧、中央通署に連行取調の結果右犯行の外に同樣手段に依る竊盜を前後七八回に及んでゐることを自白した

タイヤ盜まる

梅ヶ枝町三ノ三運輸業横山暉一（五六）さんは二十三日午後七時から二十四日午前七時までの間店內にあつたタイヤ（時價四百圓）一個を何者かに竊取されてゐるのに氣付き中央通署に屆け出た

滿鐵軍勝つ

【東京國通】滿鐵對東京市役所軟式庭球試合は二十四日午後零時より日比谷公園コートに於て擧行、滿鐵勝つ

滿鐵7—5東京市役所

興銀員小牧伍長

あす慰靈祭

元滿洲興業銀行々員小牧正吉氏（二十三才）は同行四平街支店在勤中應召、輕機關銃手として滿蒙國境方面に出動活躍中であつたが、ホロンバイル附近の戰闘に於て壯烈なる名譽の戰死を遂げた旨通知に接したので、同行に於ては遺族の來京を俟ち二十六日午後四時半より祝町太子堂に於て佛式に依り慰靈祭を執行する

氏は原籍鹿兒島市田上町二二九二番地で鹿兒島商業卒業後鮮銀より同行に轉じたもので、平素模範行員として前途を囑望されて居たものである【寫眞は故小牧伍長】

特產專管公社幹部

滿洲特產專管公社理事長向坊盛一郎、同副理事長松島鑑、同副理事長劉德權、同理事小林五郎、同理事尾上利治、同理事方煜恩、同監事採徵の七氏は二十四日就任挨拶に來社

・・・能率協會事務所移轉・・・ 財團法人滿洲能率協會事務所は永昌路から豐樂路三一四號舊豐樂ビル一階へ移轉した

あす（廿六日）

▲炭節強調週間第一日
▲山田畫伯個人展 於三中井
▲鑛業開發會社會議 午後三時より於國防會館
▲本社主催冬の生活座談會 於白菊俱樂部午後一時
▲友の會主催友愛セール 於白菊俱樂部午後一時

今晩の主なる放送

▲七・三〇歌唱指導（新京）▲七・四〇合唱（哈爾濱）▲八・〇〇詩吟（新京）中野網靜▲八・一〇歌謠曲（新京）上野敏夫、鯉香▲八・三〇防空讀本「燈火管制」（東京）▲八・四〇ラヂオ小說（奉天）

正誤

康德六年九月廿一日附夕刊掲載滿洲自動車製造株式會社第一期決算公告中現金三三六、六一とあるは（三三六一六）の誤植に付訂正す

カフエー

"港"の女

「窓を開けエー、ミナートが見イえーる」ぢやなくて「ドアを開ければミナトつてカフエー」と言ひたい日本橋通りのカーエー・港▼そのドアを推して入つて行くと、ネオンの飾りのついた燈台がホールのまん中にある、これは此の頃の季節に、おまけに低溫生活提唱時代に、いささか肌寒い風景とも思はれるのだが寒いと思つたらそれだけウンとよけい呑んだら良からうとさういふ商略なのかも知れぬ春の銀座のビヤホールがストオヴを焚いて客を暑がらせるのと同じ手なのであらうか、しかしどうもあれはコンクリート、いやセメントかな、セメント造りらしいから、季節を超越しての店の象徴なのであらう▼閑話休題である▼小生は一寸此處で會ふ約束の人があつて行つたのだが相手が仲々現れず、暫らくボツーンとしてゐたが、所在ないまゝにビールなど言ひつけたのであつた▼やがてビールとともに一人の一寸年增型の女が現はれた、別に特別な興味も無し、ボツボツとビールを飲んでゐたのであるが、彼女やがて「あけてあたしに下さらない?」と言ふ、むろんさう言はれてひるんでは居れん▼ビールをさした彼女少し身體を横にくねらせていともあざやかに飲み乾した、今度はボク、次は彼女、次はこちら、それから彼女、いや實にあざやかな飲みつ振りである▼する內、彼女が鈴木澄子（あの新興の、天下に名だたるエロ女優です）に似て來た、何も僕が醉つて來たんぢやない、彼女の横顏、その物腰し、彼女のかもす雰圍氣、それらすべての綜合された印象としてそんな風に感ぜられて來たのであつた▼この時、もはやビールは林立、僕は「低溫生活何ものぞ!」と叫び彼女は「……」オツトそれを書いちや具合が悪い……でも僕は別に深く醉ひはしなかつた、ちやあんと彼女の名前を聞いて來たのがその證據だ、彼女は「春美」といふのである!

中野忠晴のジャズと 中川のタップ あすから長春座へ

コロムビア専屬のジャズ・シンガーとして今人氣の王座をゆく中野忠晴に同じくジャズシンガー清水悦子、タップダンスの中川三郎を配し、これに東京スヰング樂團の伴奏陣を配したクスヰング・スヰング・ショウ"は廿六日から長春座にアトラクションとしてお目見得するがプログラムは左の通り【寫眞は中野忠晴（上）と中川三郎】

1、ルムバ・タムバ……清水悦子 東京スヰング樂團 指揮
2、唄……中野忠晴
　一、バンジョで唄へば
　二、小さな喫茶店
3、ジャズ「シングシング」……清水悦子 東京スヰング樂團 指揮
　三、マリ・ネラ
4、唄……清水悦子
　一、或る雨の午後
　二、旅の夜風
5、タップ……中川三郎
6ジャズ「セント・ルイズ・ブルース」、清水悦子 東京スヰング樂團 指揮
7、唄……清水悦子
　一、支那の夜
　二、なつかしのボレロ
8、タップ「東洋狂想曲」……中川三郎
9、唄……中野忠晴
　一、浪曲ブルース
　二、チヤイナ・タンゴ
　三、ダイナ
10、フイナーレ……全員

なほ映畫は清水宏監督、田中絹代、上原謙主演「桑の實は紅い」と大庭秀雄監督、三宅邦子、三原純主演「感激の頃」の二本立である

赤坂小梅、電話の告別式

非凡な撥を惜まれつゝ急逝した杵屋勝右衛門の遺骸は、廿一日友人及び門弟等の手によつて荼毘に付される事になり午前十時出棺の豫定であつたが、定刻を二十分過ぎても靈柩車が到着せず、一同もどかしく思つてゐる十時二十五分消魂ましく電話のベルが鳴つた新京からで、滿洲に赴いてゐる妻女小梅「何分よろしく……」の力ない聲が聽かれた、勝右衛門の遺骸は直に電話器の眞下に移された、そして五尺六寸の體を覆ふ棺の釘を、參列者一同、石塊を持つてトン〳〵と打つた、長からぬ生涯の絃を斷つた夫勝右衛門が永久に柩の中に眠る音を新京の空で受話器の口に聽く小梅はどんなにつらかつたであらう、胸中を偲びながら、居並ぶ人々は聲をあげて泣いた、もちろんその咽喉も線を傳はつて海を越えたこと云ふまでもない

滿映撮影便り

▽水ケ江龍一監督、阿片撲滅映畫「煙鬼」は愈々近日完成するがこの映畫の巻頭に阿片の害毒について孫民生部大臣が約三分間に渡つて熱辯をトーキーに吹込んだ

▽滿映文化映畫部では吉林省公署の委囑に依つて文化映畫「躍進吉林省」を製作する事に決定した、脚本は圖齋要一で此の程脱稿、監督撮影は近日決定の筈この映畫は事變當時までは十五萬の匪賊が蠢動して治安不確定であつた吉林省が現在面積八九、九二一、一一八平方粁、人口五、三〇六七二五人に擴大、治安も安定して滿洲國の中核に新京を中心として一市十七縣が滿洲國の政治、經濟、文化の中心を爲して躍進して居る姿を描かんとするもので此の完成が各方面から期待されて居る

▽文化映畫士砂監督「阿片」は着々に進渉中であるが先程阿片の入荷で有名な沙泉港に其の狀況撮影の爲、ロケを行ひ多大の收穫を得て歸京した

雜音

「桑の實は紅い」と「感激の頃」の二本立大船全プロで蓋を開けた長春座、後援の宣傳に來るアトラクションの宣傳が利いてゐる所爲か初日へ晝間）の入りは餘りいゝ方ではなかつたやうだ▼「桑の實は紅い」は清水宏監督のオリヂナルもの、田舍の生活の因襲があつて、そこへ香港まで流れた女が歸つて來る、女には有富な實家のある生れ故郷の土ではあるのだが人々は女を心よく迎へない、遂に女は再び元の生活に歸つてゆく▼素材はよく清水としては在來の實寫的なものより人間の內面に向つて一歩突き進んだものを見せやうとしてゐるやうだが、未だ充分の成果を收めてゐない▼故郷の"因襲"は概念的ではあるが先づ描けた、然しこれに反撥する女の氣持はわれわれの共感を伴はない反撥する女の氣持の底に故郷への愛着があつて、この二つが相剋する內面を描いて始めてこの女の悲しみが強く響いて來るのである、幾つかの想ひ出のシーンが重ねられてあるのだが、どういふものかこれは意圖したものとは逆の効果を生んで冗長感を抱かしめるだけであつた、手馴れた圖柄であつたことが或は安易な結果を生んだのかも知れない▼故郷に愛着を抱き乍ら、そこには入れられず何時の間にか故郷とは離れた別の道を進んでゐるといふ――われ〳〵の身近にもありさうな人の世の冷さが描かれてゐたならこれは完璧な作品となつてゐたであらう

木曜　舊十九月廿四日
丙申　佛滅　開　奎宿　十六日

●一白の人　爲すこと捗らずとも後の爲と思ひ勵むべし庚と壬と艮が吉
●二黑の人　勞逸によりて運氣吉にも凶にも走り行く日丁と庚と東が吉
●三碧の人　活氣は充實あれども橫道にも入り安し注意丙と丁と壬が吉
●四綠の人　獨斷は誤り易し目上に問ですれば凡て無事丁と西と壬が吉
●五黃の人　自ら身を省み本分を守れば吉き日と成べし巽と乾と坤が吉
●六白の人　居ながらに幸福の舞ひ來る日氣緩みするな東と乾と壬が吉
●七赤の人　多少意に滿たざる事ありとも氣にせず勵め巽と乾と丁が吉
●八白の人　氣短かに焦れば成るべき事も破るゝに至る東と乾と癸が吉
●九紫の人　虛榮の爲めに徒勞し業務に怠りを生む易し艮と西と丁が吉

東京・本郷・神誠館

近藤勇

橋爪彦七 / 正 畫

(四十七)

力 (四)

すぐ、足音がして、母親が戻つて來た。

あぐりは、それと知つて、一層顔を袖の中に埋めてしまつた。

『あぐり――』

頭の上で、母親の聲がした

『お前』

母親も、聲を顫はせてゐた

あぐりは、泣くのを止めやうとして、湧きあがる悲しみを押へて、心を引き緊めた。

母親が、蹲んだ様子だつたのであぐりは、袖口で、涙を拭きながら顔をあげた。

『お前、まだ佐々木様のことを思つてゐるのかえ?』

いつもの母親とは思へぬほどの厳しさだつた。

あぐりは、上から睨みつけてゐるのであらう母親の顔を、想像して、額から袖を離さずに、俯向いてしまつた

『あぐり、お前、一體、いまの佐伯様のお話を、どう考へてゐなさるのだえ?芹澤様と云へば、飛ぶ鳥も落す威勢だし、今に、お大名になられるかも知れないのだしこんなお前、果報が』

あぐりは、

(何を仰有るッ、芹澤様だらうが誰だらうが、あたしには佐々木様といふ殿御がある!)

と、心で叫んでゐた。

『これ――』

母親は、あぐりの肩に手をかけて、緩く揺ぶつた。

あぐりは、母親に、口をきくのさへ厭はしくなつた。

(娘のことよりも、自分達の都合のよくなることばかり考へて)

さう思ふと、今まで育てゝくれた恩も、慈愛も、それはみんな今頃になるのを待つて親達の喰物にしようとする手段であつたかのやうに考へられて、

(人の氣持も考へないで!)

と、急に、腹が立つてきた

そして、默つて立ち上ると、部屋を出ようとした。

『お待ちッ』

怒つた、母親の聲だつた。

『……』

立ち止るあぐりに、母親が

『なぜ返事をしないのだい、いゝえさ、兩親に、かうまで氣を揉ませて、それでお前いゝものなのかいッ?』

『考へます――』

『何を?お前まだそんなことを云つて、話は、もう決まつてゐるのだよ』

『……』

『お前、もしも芹澤様を怒らせてしまつたら、私達はどうなるとお思ひだえ?』

『でも……』

『なんですッ、こつちをお向き、お前、親の幸福も、自分の幸福も振り捨てゝしまふつもりで』

『いゝえ』

あぐりは、強く首を振つて

『あたし、女の一生は、やつぱり正しい道を踏んで行くことが』

『お默りッ!』

母親が、甲高く叫んだ。

『あぐり、佐木様のことを云つておいでなんだらう』

『はい、一旦契つた上は…』

『契つた?あぐり、お前まさか佐々木様に……?』

『心までも、差上げてあります』

顔を、眼を、母親の方に向けてきつぱりと云ひ切つた。

『いけません!』

母親は、血走つた眼で、あぐりを見返して、

『お前は、何も知らないのだよ、いゝえ、契るなどといふことは、そんな口約束や何かとは違ふのだよ、あぐり―』

と云つてゐる母親に、あぐりは心で、嗤つてゐた。

(捧げたのです、身も、心も魂も、ほゝゝお母さんこそ何も知らないくせに)

この纖弱い、反抗が、せめてもの女の力であつた。

商況 (二十五日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	八磅八志―
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二三片八分三
同先物	二三片六分九
紐育銀塊	三六仙二分一
孟買銀塊	五九留比〇〇〇

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	八四仙八分三
五月限	八三仙八分三
七月限	八二仙八分五

▲紐育棉花

限月	相場
現物	九仙三五
十月限	―
十二月限	九仙〇七
一月限	八仙九九
三月限	八仙八六
五月限	八仙七二
七月限	八仙五四

印棉

品目	相場
ブローチ	一九五留比四分三
オームラ	一八三留比四分三
ベンゴール	一四四留比〇〇〇

カルカツタ麻袋

品目	相場
鐵筋	三九留比八分一
青筋	四三留比八分一

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	七六弗八分五
アナゴンダ	三三弗八分五

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗〇二仙―
米日爲替	二三弗六五仙
米支爲替	八弗七五仙
米佛爲替	二仙二七、八分五
英米爲替	四弗〇二仙―
英日爲替	一志二片三二分一
英支爲替	五片四分一
英佛爲替	一七六法〇〇
印日爲替	七八留比四分三〇

▲東京爲替

品目	相場
對米賣	二三弗一六分九
對米買	二三弗八分五
對英賣	一志二片〇〇〇
對英買	一志二片六四分一

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付 大引

新東 大新 同新 鐘紡 同新 帝書 洋鑛 日船 日新 郵石 同立 日業 日 滿 [illegible]

▲大阪株式(短期)

電工 東電 日鐵 滿新 日曹 糖 日 [illegible]

大新 新東 鐘紡 同新 滿業 日疊 帝新 商船 [illegible]

▲大連株式(短期)

五品 大新 新東 滿業 鐘紡 同新 滿鐵 土木 豆新 [illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布 十月限 十一月限 十二月限 一月限 [illegible]

▲東京人絹 二月限 三月限 四月限 當限 [illegible]

▲大阪棉花 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲大阪期米 當限 中限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 [illegible]

各地特産市況

▲横濱生糸 五月限 六月限 七月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 現物 [illegible]

▲大連 ●大豆 寄 引 入袋 十月限 十一月限 [illegible]

●高粱 十二月限 一月限 二月限 [illegible]

●豆粕 現物 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 [illegible]

●豆油 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 現物 十二月限 [illegible]

十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]

帝都キネマ 電(2)一四〇五

番組				
ニュース	11,30	3,10	6,55	
のんき横丁	11,55	3,40	7,25	
東遊記	1,25	5,10	8,55	10,35

二十二日より二十五日迄 料金 八十五錢

次週封切 蔭木のきの囁 術戰り張頑のンケノエ

朝日座 電(2)三〇九六

番組				
ニュース	12,48	3,56	7,06	
新妻讀本	1,08	4,16	7,35	
嵐に立つ女	2,00	5,11	8,28	
藤堂高虎	12,00	3,08	6,13	9,15 10,20

二十四日より二十六日迄 料金 四十錢

次週廿七日より 夕起子主演 小名路浮 日活超大作 襲空

新京キネマ 電(3)二〇六八

番組					
大海原漂流記		1,15	4,20	7,25	
ニュース		1,25	4,30	7,35	
鐵火部隊		1,53	4,58	8,03	
荒獅子	12,00	3,05	6,00	9,15	10,25

廿四日より廿五日迄 一均四十セン

近日公開 清水港 土と兵隊 キヤラコさん

銀座キネマ 電(3)六四六五

番組					
ニュース		12,56	4,10	7,14	
國策息子		1,16	4,20	7,34	
彌次喜多前篇		2,09	5,13	8,20	
同 後篇	12,00	3,14	6,18	9,15	10,13

廿四日より廿六日迄 階下 五十錢

豫告二十七日封切 佐竹競艶錄 愛の渦卷

豊樂劇場 電(2)一四四五

番組				
ニュース	12,00	3,20	6,40	
狂亂のモンテカルロ	12,20	3,50	7,10	
海のつはもの	2,00	5,20	8,40	10,00

二十三日より二十五日迄 料金 四十セン

次週 廿六日より 紅風 亦旗の 吾曉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓（郵税）
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二〇 營業局專用(3)三一二五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

地方官吏の割愛は人員拂底で不可能
協和會、省次長懇談會

協和會中央本部と全國省次長との懇談會は廿五日午後一時卅分より中銀倶樂部に於て開催本部側より皆川總務部長以下各職員、政府側より薄田總務廳次長、各省次長、桂地方處長其の他關係官出席、協和會精神を基底とする民生振興政策の實質問題につき約五時間に亘つて眞摯なる懇談協議が行はれたが省次長側から要望された主要な點は概ね次の通り

一、機構整備充實三ケ年計畫 （イ）協和會より現地の體驗を有する地方官吏の割愛を希望したるに對し次長側では目下各省職員の拂底の際地方より協和會に會務職員を割愛することは不可能であり政府中央部よりこれを求めらるやう取計はれたい（ロ）省本部長乃至省副本部長が兼任することは現在の狀態では好ましくない、そのためなるべく省副本部長には專任の練達堪能の士を擧げられたい但し興安各省、間島省、北邊各省等特殊な地域の省本部長は日系の省長乃至次長が適當と考へる

一、分會と街村の關係 分會長と街村長は原則として別人であることが必要であるが民度低き特殊な地域は行政並に會運動の圓滑融和を期するためこれを一元化することが適當であらう

一、物資物價の統制に關する國民訓練 政府の統制の精神を分會活動を通して徹底せしめ國民の能動力的協力を促されたいそのためには貯畜奬勵、消費節約等につき更に國民の自肅自戒を求めることが必要である

更に協和義勇奉公隊の運營及び經理並に全聯決議事項の事後處理方策についても隔意なき意見の交換が行はれ午後六時散會した

現制度の是正要望
省次長 教務部とも懇談

邦人子弟教育問題に關する大使館當局と各省次長（學校組合長）との懇談會は廿五日午前九時四十分から國務院講堂で開催

各省次長のほか大使館側今吉教務部長、成田事務官、民生部から神吉次長、田村教育司長、高松文書科長、その他對滿事務局關行政課長出席

學校組合の運營を中心として邦人子弟教育の根本問題について熱心な意見を交換のゝち午後零時半散會したが、各省次長、民生部當局が殆んど一致せる見解として

邦人子弟の教育權については治外法權撤廢の際特に留保されてゐるが、現行制度では却つて邦人子弟教育に支障を來すのではなからうか、各省次長は學校組合長とされてゐるが何等教育に關する權限を與へられてゐないため實際上教育施設について積極的な盡力をする事が出來ない狀態にある、教育權の滿洲國移讓が出來なければ委託でもよい、それも都合が惡ければ特に何とか方法を考へては如何

と主張大使館側の善處を要望した事は注目された

協和會中央本部 工作方針審議

協和會では明年度工作方針決定につきかねて企畫局原案に對して各部局より委員を任命これが檢討を進めてゐたが各部局の方針も大體まとまつたので廿六日午後一時より各部局委員全體會議を開催中央本部事務當局綜合審議を行ふことになつた、同全體會議では

一、會務機構擴充 一、國土防衛と動員態勢の完備 一、建國精神の普及徹底 一、國民生活の安定

等協和會明年度工作方針の主要題目につき綜合的檢討を加へ大體方針を決定したる後これを更に各重要問題別の小委員會に附託することゝならう

滿鐵增資案 首腦部大綱決定

【東京國通】滿鐵增資案は既に政府關係事務當局の審議を一應終了したので、廿四日閣議散會後總理官邸にて青木藏相、畑陸相ならびに原對滿事務局次長等關係首腦部參集、事務當局作成の滿鐵增資案を協議した結果その大綱については大體意見の一致を見た模樣である、而して今回の滿鐵增資案は政府關係出資も巨額に上り且つ滿鐵の事業自體國家的色彩を有してゐる等の關係で今後右增資案に關する事務手續の終り次第早ければ今月末の閣議に諮り增資案の內容を說明し政府の方針を最後的決定する筈

税務科長會議

定例全滿税務科長會議は二十六、七の兩日安東で開催することゝなつた、同會議では市税の改廢及び國税との合理的調整につき現地側より徵税狀況を說明種々意見の交換を行ふが近く實施される遊興飲食税の創設並びにこれに伴ふ地方税附加損の認可についても中央の方針を說明することゝなつてゐる、尙經濟部小澤國税科長は同會議出席のため二十四日新京發ひかりで赴安した

第一回協和地區懇談會開く

必要外の石炭、米の購入は差控へよ
米は相當量を入荷 當分心配なし

王道警察實現に邁進する首都警察廳では二十五日午後六時大興ビル地下室青葉グリルに於て第一回地區協和警民懇談會を開催

田村副總監、濱田四道街警察署長、安東警正、金子警尉及び日滿商事、糧穀會社大經區、東光區各連絡幹事二十五名出席

中村大經路連絡幹事長座長となり石炭問題、米配給に關する問題の懇談會を開始したが住民に最も密接な關係を有する問題だけに實情をうがつた論議百出の有樣で懇談會は彌が上にも緊張、石炭配給の圓滑を如何にするかに就いて

一、配給所の電話を增設する事
一、首都下に於ける貯炭場を增設する事
一、運搬用荷馬車を增設する事

等の他色々と提案事項もあつたが日滿商事では今冬季中に於ける石炭に關しては全體に不足をきたさない自信を持つてゐるから安心して貰ひたい然し一般家庭で需要量外の石炭を購入しない樣に切望すると結んで米穀配給問題に移つた、各代表の要望に依り市公署椎實業科長が現在米穀不足を來した原因は本月二十日迄に新穀の出廻りがあるものと豫想してゐたが意外にも種々の理由のもとに延び〳〵になつたためであると釋明し首都下に於ける米穀の現狀を說明し最後に

廿五日某方面から米穀の入荷があつたが數量及び場所は今の處發表出來ない、今後の入荷を合せて十一月十日頃迄の米穀數量はあるから二十六日の夕刻頃から首都下の小賣商店に行けば充分に購入出來る樣になつてゐる、石炭問題と同樣一般各位に於ては道德心に訴へ新穀出廻り迄では需要量以外の米を買はれない樣に切望します

と結んで懇談に入つたが麥の混入又は粟の混入米を販賣してはとの提案もあつたが結局提案のみに止り續いて警察側の提案事項があつたが警察側提出懇談事項は、

一、不良徒輩出の件
二、道路淸掃並び積雪除去に關する件
三、道路使用並びに放置物件の取締に關する件
四、國旗掲揚方勵行に關する件
五、防火宣傳週間實施に就て

等でいづれも一般市民の協力によつて目的を貫徹する事となり午後十時過ぎ散會した

お座敷懇談
中央通署管下の提案

中央通署管內懇談會は午後七時より祝町太子堂二階大廣間に於て所謂お座敷懇談會を

警察側安井特務科長、市原署長、本田保安股長、家田警務、泉司法、甲斐特務各主任以下二十名、民間側小松吉野、早川數島區長はじめ十三分會役員四十余名出席裡に開催小松區長座長となり第一日地區懇談會開催に關して挨拶あつて分會提案事項の討議に移り、先づ交通整理に關する件を上程

懇談會の都度持ち出される人力馬車夫の素質向上が論議された後自動車のスピード制限即ち近頃の自動車は規定以外の速度を輻輳する路上で出し危險この上なし何等かの手段をもつて嚴重取締られたい

との意見に市原署長は

現在の自動車運轉手の素質は他都市に較べて非常にレベルが下だが、一時廢止した交通巡査の管內遊動を復活取締ることゝなつたから暫時よくなると思ふ

と述べ、なほ鋪道上でベースボールをやられるため交通に支障を來すとの意見に

「人は鋪道車は車道」の建前から今後かゝる不道德漢を發見した場合は相當の處置を取る

と述べて二題勞働賃銀に關する件を上程、中央分會德本氏提案理由の說明をなしたところ勞工協會新京支部河野氏の答辯要を得ず、彼處此處から議論續出水掛論となり緊急動議が出る始末、結局東廣場に於る苦力の日傭賃銀最高最低額が近く民生部大臣より認可される法規によつて決定するとの答辯かあつて漸く鳧となつたがこの間的五十分を冗費して座場だれ氣味、徒らに長口舌を振ひいつぱちの代表を氣取るものもあつて不快の氣分を橫溢したが順次に

一、石炭配給に關する件（中央分會提出）四、歩道側溝に關する件（同）五、川砂不正販賣に關する件（同）六、諸儀式に對する虛禮の件（吉野分會提出）七、派出所管內區域變更に關する件（朝日分會提出）八、衛生下水設備に關する件（入船分會提出）九、就職難打開に關する件（鶏林分會提出）一〇、學校組合機構一元化に關する件（同）

を上程、警民側隔意ない意見達お座敷懇談の實を擧げて和氣藹々の裡に意義深く同十時項散會した

主要糧穀の買溜め 賣惜み嚴重取締
統制法實施準備完了

主要糧穀統制法は諸準備を完了近日中に公布の豫定となつてゐるが、これが統制機關たる滿洲糧穀會社では高粱、包米、精白高粱等は十一月一日より、精白粟については十二月一日より夫々統制法が適用され、同社が一元的に收買を行ふことになるため既に指定地駐在員の配置を終り諸準備全く完了し、十一月一日には直ちに統制實施に當るべく備へてゐるが、一部には主要糧穀の統制實施期は一樣に十二月一日なりとの流言頻りに行はれつゝあり、これが爲全滿各地において買溜め、賣惜みが行はれてをり、これに附隨して主要糧穀が法外なる高値を呼んでゐるが、統制實施と共に既存賣買契約は一切無效となる建前から統制時たる十一月一日に及び相當の被害を蒙るものゝ出現が豫想されるので關係當局ではこれ等統制に反する買溜め、賣惜み等の行爲は法規により嚴重取締ることゝなつた

ソ聯の進入阻止せば 伊ユ、洪を援助せん

【ブダペスト廿四日發國通】ハンガリー官邊より確聞するにイタリー、ユーゴースラヴイア兩國政府は萬一ハンガリーがソ聯のルーマニア進入を阻止するべく起つ場合にはこれを援助する旨保障を與へたといはれる

獨外相演說 英國攻撃に集中

【ダンチッヒ廿四日發國通】リッベントロップ外相は廿四日ダンチッヒにおいてドイツの對外方針を闡明する重大演說を行つたが、演說は殆ど一貫して英國攻撃に集中ドイツ側の和平提唱を英國が拒否した以上ドイツは自國の安全確保のため最後まで戰ふ決意なる旨喝破した、リッベントロップ外相は先づドイツは世界各國との間の友好關係を確保する方針にあると述べ日伊ソ米各國との間の親善關係を强調、次いで英佛との間に親善關係を欲したがこれは英國の不遜な態度に依て無效に歸したことを指摘した、英國の反獨政策に言及するやリッベントロップ外相は口を極めて英國の態度を攻撃し國際間の神聖な取極め破棄の張本人は英國であるとなしチエンバレン首相がミユンヘンで成立した英獨不戰宣言に違反して對獨宣戰を布告した以上ドイツは自國の安全が確保されるまでは斷じて鉾を收めるものでないと結論した

日滿支食糧會議 十一月上旬開催

【東京國通】企畫院では日滿支に通ずる戰時食糧の綜合的生産および自給計畫の根本方針を確立するため來月上旬第一回日滿食糧會議を開催することに決定した、右會議には農林、拓務、興亞院、對滿事務局、企畫院はじめ滿洲國側より關係官出席

一、米穀需給關係の調整につき日滿支三國の關聯において對策を樹立すること
一、日滿兩國政府において決定せる農産物增産計畫案と睨み合せ恒久的對策として日滿支三國間における生産配給計畫の樹立を促進すること
一、飼料および雜穀類の日滿兩國間に適性を期すること

等につき協議を行ひ日滿支三國を通ずる戰時食糧政策の確立に資することになつた

中、南支爆撃

【上海廿五日發國通】艦隊報道部廿五日午後四時發表＝

△中支方面戰況

一、廿四日海軍航空部隊は河南省西南部の敵要衝の偵察ならびに攻撃を實施し南陽および內鄕において同地飛行場內に巨彈を浴せ且つ走路ならびに附屬軍事施設等にそれぞれ甚大なる損害を與へ全機無事歸還せり

△南支方面戰況

一、廣東省東部地區作戰中の海軍航空部隊は去る廿二日潯江流域の平南および潯州において同地附近の軍事施設軍需品倉庫、軍用小型舟艇群等に銃爆撃を加へ何れも多大の損害を與へたり

一、なほ同日他の有力なる航空部隊は廣東省西部龍門江々岸及び北海において敵軍事施設ならびに敵據點を銃撃これに大打撃を與へたり

三寒四温

▲かつて鮎川義介氏は、滿業總裁として、滿洲に乘り込んで間もない頃、在滿日本人の生活樣式のあまりに故國そのまゝであるのを、滿人の生活樣式と比べて、どうしてもつと滿人に學ばないのだ？「鄕に入つては鄕に從へ」だ、滿洲に來たら滿人式の生活をするに限る！といつたものだ。▲勿論この言はやゝ奇矯に過ぎよう、一般滿人は決して理想的な生活をしてゐる譯ではないので、彼等の生活樣式の中には、單なる傳統や、無智から來る極めて不合理な、また非衞生的な、一日も早く改むべきことも多々あるであらう。▲しかし、一見極めて素朴であり、もしくは野蠻未開或は低級だと思はれる彼等の生活方法の中にも、その大陸生活における經驗から得た貴い叡智のたまものも決して少くないといふことを考えねばならぬ。▲滿人は自然的な生活をしてゐるから、弱い者は早く斃れて、强い者だけが殘るのだ、だから彼等の病菌に對する抵抗力は日本人より遙かに强いのだ、といふ說もある。▲事實、今年の夏、新京に赤痢患者が續發して市立傳染病院が滿員となつたときでも、日本人よりずつと非衞生的？だと常識的に考へられてゐる滿人の方が、はるかに日本人より罹病者が少く、日本人のそれの二三割だつたといふ。▲また此の秋の大連のチブス猖獗は近來の大さわぎだつたが、こゝでも患者は殆んど全部日本人で、滿人の罹病者は極めて少かつたといふことだ。▲そこで、滿人は漢法醫にかゝるから、傳染病をかくしてゐるのではないかとの疑を懷く向きもあつたが、よく調査してみると、多少の事例はともかく、大體に於て患者隱蔽といふようなことは大したことでないといふことがわかつた。即ち事實滿人は赤痢やチブスに對して抵抗力が强いといふことになつたのだ▲何故だらう？ それは滿人が生水を飲まぬこと、必ず煮た物を喰ふこと、それに反して日本人は生水、生ま物をどん〳〵飲みかつ喰ふから、傳染病にかゝるのだ、といふ說がある。▲或はさうであらう併しはたしてそれだけだらうか？ 滿人の病菌に對する抵抗力が强いことには、もつと他にも原因がありはせぬか、例へば其食物の配合などに特殊のものがないだらうか？▲滿人の日常食物の研究、その健康乃至は病菌に對する抵抗力との關係の調査などは、價値のないことだらうか？或は調査不可能なことだらうか？▲かういふ卑近な研究、食べ物や衣服や、住宅のごく日常的なものゝ調査を滿洲のどこかでやつてゐるだらうか？もしやつてゐないとすれば、醫大などでも、やつてほしいものだが、特に新設を傳えられる厚生研究院などでは、まつさきに斯ういふ手近なところの研究から始めて貰ひたいものだ。▲傳聞するところによれば、京大の戸田正三博士は、その主宰する興亞民族生活科學研究所の研究題目の中に、米―東洋人の主要食物たる米の全面的研究をとり上げて居られるとの事だ。▲アジア數億の人類が、何千年來常食として來た「米」の綜合的科學的研究が今日迄なされなかつたといふことは考えてみれば、不思議なようなことだしかしかういふことは敢えて米に限らぬと思ふ。われ〳〵は、學問とか研究とかいふといつも餘りに日常生活からかけ離れたものと思ひ勝なのだ▲これは東、古來の學問の傾向では斷じてないので、西洋科學思想の形式的な淺薄な謬譯もものまねの流弊だ。▲「生活科學」とか「厚生科學」とかの研究なり、施設なりは、まづその根本指導精神を、眞のわれ〳〵の生活そのものゝ具體的な、實際的な改善向上といふことに、明瞭、確然と指向して出發しなければならぬと思ふ

奉節、巫山、遂寧猛爆
秋空の月明を利し夜間空襲
海鷲群久振りの活躍

【○○基地廿五日發國通】秋空を仰いで腕を扼してゐたわが海軍航空隊は廿四日久振りの快晴に惠まれるや一擧に基地を蹴つて夜間空襲を敢行した、即ち午後十時半頃折柄の月明を利し武田、池田兩大尉の指揮する大編隊は四川省東境近き奉節ならびに巫山南飛行場をそれぞれ急襲軍事施設を破壞炎上せしめ、又三原大尉の他の一隊は廿五日午前零時頃重慶、成都間の遂寧飛行場施設を猛爆多大の損害を與へて全機無事歸還した

社説　最近のソ支關係

[illegible]としては、日本との間には外蒙國境問題で妥協を圖るに至り、そして歐洲問題に積極的に乘り出すに至つた、したがつて支那問題に對して深入りすることは今後避けようとするのではないかと觀察した向きもあつたのである。しかしこの觀察は當つてゐなかつたと言はなければならない。ソ聯は歐洲にも進出しつゝ、支那に對してもその伸ばした觸手を弛めようとはしてゐないのである。

ソ聯のこのやうな態度は、第一にはソ聯の實際國力があつてはじめて出來ることで、その歐洲政局に於ける地位も近時大いに高められてゐるものであるといふことがこれによつても察知されるのである。それはともあれ、ソ聯は國內においては依然として日本攻擊の宣傳を續けて居るといふことを最近ソ聯を見て歸つた人は報告してゐる。その歐洲進出がソ聯としてどのやうな理論の轉換によつて裏打ちされるかは知らぬが、少くとも東洋に於いてはソ聯は依然としてその世界革命の方法論によつて事を進めてゐると見なければならぬ。獨逸などがどのやうな方向を取らうとも、日本が東洋に於いて堅く防共の陣を布くことの必要は些かも減じないのである。ソ聯としては、重慶政府の存亡如何のごときは別に大した問題ではないのである。[illegible]

英爲替强化に對處
＝爲替基準變更理由＝

政府は日本における爲替基準變更に呼應し日本と同樣國幣對外相場基準を對米二十三弗十六分の七と決定廿五日より實施することゝなつたが今回右の如き措置を取るに至つた理由は專ら爲替操作ならびに貿易實行上の便宜主義に立脚せるもので、從前の政策的轉換を意味するものではない、即ち今次歐洲戰亂の發展に伴ひ英國政府の爲替管理は益々强化され英本國ならびに各屬領向輸出代金は輸出國が右代金を英帝國よりの輸入代金に充當する場合にのみその支拂ひを許され英帝國以外の第三國との貿易決濟にはこれを充當し得ないものとなつたので磅資金は事實上國際貿易通貨たるの機能を喪失してゐる結果となつた

かくては日滿の如く磅にリンクしてゐる中立國に取つてはその對外貿易ならびに爲替決濟上多大の支障を蒙ることゝなるので現在磅よりも國際通貨たるの機能を多分に有し且つその對外價値も比較的安定してゐる弗貨にリンクした方が各種の點で有利となつたわけであるなほ弗リンク制實施に伴ひ對英相場は米英クロスの變動に追隨して變化することゝなるため從來の磅建輸出入契約に基く受拂關係は今後磅貨の變動如何によつては相當の打擊を蒙るものと見られるが、これ等既約定物の處理については政府としても萬全の措置を講ずべく目下これが善後策につき研究中である

外國爲替相場協定を改訂

【東京國通】弗リンクへの轉換に伴ひ市中爲替銀行代表者は廿四日午後正金銀行東京支店に參集、外國爲替相場協定の全面的改訂を行ひ廿五日より實行するに決定した、新協定の骨子次の通り

一、爲替相場算定の基準を從來の對英一志二片より對米廿三弗十六分の七に轉換する

一、對米相場は直先同値とする、これは磅リンク採用當時對英直先同値と定めたと同一趣旨に基くものである

一、對英相場は對米廿三弗十六分の七を基準としこれを米英クロスレートをもつて裁定したレートによる、但し米英クロスに激變ある場合には對英レート裁定につき暫定措置を講ずる、從つて對英レートは大體一志二片を中心とする小流動に止まる見込み

一、電信買相場は電信賣相場に比し對米は十六分の三高、對英は六十四分の一高であつたが、今回はこれを對米英とも卅二分の一高に改訂した

一、期限付手形の買相場調整弗手形は電信賣相場との鞘を多少縮少、ポンド手形はロンドンへの郵便日數が延びたのに對應し電信買相場との鞘を幾分擴大した

銀買上價格も變更

【東京國通】政府は我國爲替基準を變更して磅から弗に切替へ廿五日から實施することになつた、右は從來日本銀行をして買上事務を取扱はしめてゐた政府銀買上價格も同時に當然變更されることゝなり廿五日左の如き算定方法を採用することゝなつた

一、政府の銀地金買上の基準となつてゐるロンドン銀塊先物相場をニューヨーク銀塊相場に變更する

一、價格算定については控除すべき現送費（運賃保險料その他）ロンドン向一千分の五二をニューヨーク向一千分の一九に變更する、この結果政府の銀買上値はロンドン向の場合に比し現送費の控除額が減少されるため多少引上げられるわけである

即ち廿四日入電によるニューヨーク銀塊相場十オンスに付三十六仙十八より算出した銀買上値は一キログラムに付五十三圓卅二錢となり同日のロンドン銀塊相場基準の買上値五十二圓廿二錢に比し一圓十錢見當割高となつてゐる

▽▽小麥專賣準備關係會議△△

小麥の專賣は愈々十二月一日から實施されるので、專賣總局においては過般來その準備を進めてゐるが、關係法令は大體十一月中に公布され、專賣總局製粉科も新設されることゝなつてゐるのでこれ等に關する諸般の事務打合せのため地方專賣署副署長ならびに販賣及び收納科長を招集し廿五、六兩日經濟部會議室に於て小麥粉專賣準備會議を開催した、第一日は午前九時から韓經濟部大臣、松田次專賣總局長の訓示があり議事に入つた

省要望事項に對す　產業部回答

全國省次長打合會議第二日の省要望事項に對し產業部では左の如き回答をなした

一、統制資材配給に關する件（三江省）　從前の統制配給組織の擴充强化並に配給統制組織の新規設定等を可及的速に實施し以て配給數量の決定配給の圓滑化を圖り極力その要望に副ふことにする

一、物資配給統制の綜合性確立（奉天省）　物資配給統制の綜合調整については夙に留意し既に指示事項にあつた如く既設備の擴充又は新設備の增强を考慮し着々其の實現を期してゐる、その本來の目的に沿はず徒らに煩瑣な配給組織がありとせば之は一日も現情のまゝ放置すべきに非ざるを以て之に對しては速かに是正を促進するに吝でない、尚上記綜合性を確立する爲各統制法施行に關する權限につき是を地方行政官署に附與する點については充分研究の上善處する

一、物資省割當數量增配の件（龍江省）

1　石炭の增配に就て＝石炭需給の調整に關しては出炭數量の增進を焦眉の急務とし生產部門諸要素特に勞動力の把握並に資材の獲得等につき鋭意研究を進める一方配給部門の統制强化、整備等を斷行し現在の需給調整の圓滑化を圖る意向なるも省に於ても政府の配給統制實施に協力を要望する

2　綿、綿布の增配に就て＝龍江省地區に於ける綿、綿布の配給は現在ハルビン地區を含め一單位とし元賣捌業者（三者）之が配給を擔當し各元賣捌業者の過去の取扱實績、地方の特殊事情其の他の諸條件に依り之を決定配給してゐる、然れ共支那事變並に歐州情勢の影響に因り國內綿製品の生產數量も漸次制限を受け且對日期待數量も充分の期待不可能なる現況に逢着せる爲綿業聯業會の全滿配給數量も或程度制限するの已むなき事情に在り之等配給機構の整備については政府は既に其の充實を圖り以て配給の圓滑を期する爲差當り全滿に十三地區の配給地區を設定する豫定である　齊々哈爾は上記中に既に考慮しあり元賣捌業者の營業所を設立すべく準備中である

3　亞鉛板、釘其の他鐵銅資材の增配に就いて主として生產力擴充の方面に使用せられ而も其の國內生產は國內の需要を充足するまでに至つてゐない

一、指定作物の增產に關する件（錦州省）　政府は康德六年度の實棉收買價格について國の棉花獎勵策と戰時物價對策との關聯を參酌し昨年度大石橋地方改良棉一等棉廿二圓の一割上げ即ち廿四圓二角を基準として各地に於ける適正なる價格を決定したるもこれが買入擔當機關たる滿洲棉花株式會社を指導監督して棉作農家の保護に努むる方針である而して原棉不足に基因する綿糸布ならびに打綿配給の不圓滑の招來及び各地打綿の不正取引、原棉の隱匿等の不正事については政府は極力打綿向原棉の配給を增加し可及的に打綿の圓滑なる配給を期するとゝもに別途打綿配給機構の改正ならびに打綿價格の公定等につき目下考慮中である　現在の原棉不足の緩和策として省縣を主として棉作農家の自家用棉の消費節約をなさしめ原棉對策に協力せしめるとゝもに自發的に自家用棉の保留を減少せしめその必要量に應じ安價なる打綿の配給に萬全を期してゐる

一、農產物收買に關する善後措置に關する件（奉天）　省政府當局は今般差當り軍需農產物中從來より最も聲援の大なりし大麥、燕麥に就き軍と協力しこれが價格の適正を圖るため公定價格を設定するとゝもに一面損失補塡の方法をも確立し農民をして欣然增產に從事せしむるやう考慮した

一、開拓民の匪害救濟方に關する事項（間東省）　匪害に因る直接損害は開拓民の負擔とならざる樣目下滿鮮拓植株式會社と協議中である

一、鮮農開拓民の取扱に關する件（吉林省）　明年度より國境辨事處を增置して證明書を所持せざる鮮農の統制の徹底を期すべく研究中である

一、日本內地人集團、集合開拓民の大量入植促進に關する件（三江省）　第一期計畫五ヶ年間十萬戸案を規定方針通り實施する方針をもつて明年度三萬戸、明後年四萬七千戸を移住せしむるやう日本政府とも協議中である

一、濕地干拓事業實施に關する件（富錦縣）　近く全般的に精查の上有望なるものと認むる場合は可及的速に實施したい

一、私有林の創定に關する事項（間島省）　個人に對し國有林野を割讓して積極的に造林せんとするは造林獎勵の一方法としての趣旨は諒とするも斯くては農村備林造成を阻害する虞あるのみならず國有林野の優先的設定並に地方管轄林野たるべき國有地についても各種の國家的見地よりする要不要の查定並に土地の官民有審定を前提とすべきにつき之れを速急に實施することに就ては相當の考慮を要する

の作物價格との權衡を失せざるやう考慮するの必要がある

民生部回答

全國省次長打合會議に於ける各省提出の要望事項に對する民生部回答左の如し

一、農鑛大學設立に關する件（熱河省）　大學卒業程度の人的資源の不足に鑑み民生部に於ては之れが十ヶ年計畫を立案中で錦、熱地方に農業並に工鑛業關係大學の設置の必要を認めて居り可及的速かに實現を圖る方針である

一、教育の振興に關する件（三江省）　初等教員の拂底に鑑み本年七月より國民高等學校卒業生に第三種教諭の資格を授與し多數の教師を得る方針をとると共に明年度師道學校の廿五學級、臨時初等教育教師養成所の七學級の增設を計畫中である、更に康德八年度より師道學校の修業年限を一ヶ年とし教師の供給に萬全を期してゐる

一、軍事救護費の增額に關する件（興安東省）一、募兵並に軍事救護に關する件（吉林省）　軍事援護費の增額に關しては民生部では更らに追加豫算とし相當の增額を見、近く之が實現の豫定である、尚明年度軍事援護費の豫算計上に當りては各省に於ける援護狀況の實績を考慮し以て萬全を期す

一、熱河離宮ラマ廟寺古蹟保存に關する件（熱河省）　今後一層努めてその趣旨の貫徹に努力する方針である

一、勞働統制に關する諸方策に對する改善要望の件、一、職業紹介機關の整備に關する件（奉天省）　從來無統制なりし勞働市場を地方團體又は滿洲勞工協會をして適正なる運用をなさしむべく既に勞働統制法施行規則を規定し勞務行政の萬全を期しつゝあるが、職業紹介所にして公的性質を帶るものについても被紹介者の保護斡旋等に付き需給の綜合的見地より遺憾なからしむるやう市公署、その他の團體の經營による職業紹介所はこれを可及的速かに滿洲勞工協會に接收せしめ職業紹介事業の一元的統制を圖るべく關係各機關と折衝中なるを以て近く其の實現を見るものと思料す、尚高級技能者及智識階級については技能者使用制限令等の關係もあり、關係機關に於て協議研究中である

一、醫療施設の整備擴充に關する件（三江省）　羅北同江には既設福民診療所があり綏濱に於ては日下縣立醫療院建設中である、又撫遠には康德七年度に於て福民診療所設立の豫定であり、更に撫遠、同江、綏濱にも傳染病棟を設置する方針である

經濟部回答

全國省次長打合會議第二日に於る省要望事項に對し經濟部は左の如き回答をなした

一、重要產業統制法の整備强化（奉天省）　現在重要產業統制法中に指定せられたる業績に關しては當局としても時代の要請に即應する幾許の改正を爲すの必要を認め居るを以て指定業種にしてその修正を必要とするもの又追加を必須とするものにつき目下鋭意研究中である

一、轉業對策に關する件（奉天省）　新しき制度を實施する場合に於ては能ふ限り現存機構を活用すると共に新に機構を創設する場合に於ても極力既存の經驗技術を包容し利用する方針である

一、暴利取締令改正に關する件（奉天省）　統制法規の制定については目下準備中である

一、地方稅（地捐）稅率改正に關する件（龍江省）　地籍整理事業の一部としてこれを行ふを最善の方法と認める、現に實施中の地籍整理事業を土地課稅（地稅地捐）制度の確立にも寄與せしめ最短期間內に於て全國の地域に施行しもつて當面の諸要請に應ずることゝする

一、禁煙特別稅率の引上による省財政の確立に關する件（熱河省）　補償價格を變更することなく禁煙特稅の增徵を認むることは完全收納に支障を生ずるやを考慮し收納價格の引上をなし特稅の增徵を認むるときは他

獨艦、米船を拿捕
ソ聯領港灣に廻航

【モスクワ廿四日發國通】廿三日夜ドイツ國旗を掲揚した貨物船一隻が突然ムルマンスク港の北方コラ灣に入港したのでムルマンスク港官憲が臨檢した結果この船は米國船シテイー・オブ・フリント號（四九六三トン）でニューヨークよりマンチエスターに向け航行中ドイツ巡洋艦エムデン號に拿捕され、同巡洋艦の乘組員十八名によりコラ灣まで廻航されたものと判明した、巡洋艦乘組員の申立によれば貨物船に積載されたるトラクター、穀類、果實、皮類その他三千七百トンの貨物は戰時禁制品であるとの理由で同號を拿捕したといふのであるが、ムルマンスク港官憲は一應シテイー・オブ・フリント號を抑留するとゝもにドイツ水兵を拘禁した

駐ソ米大使　ポ次長訪問

【モスクワ廿四日發國通】スタインハルト駐ソ米大使は廿四日クレムリン宮にポチヨムキン外務人民委員部次長を訪問、米船シテイ・オヴ・フリント號がドイツ巡洋艦エムデン號に拿捕されソ聯港ムルマンスクに曳航された事件に關し詳細なる情報提供方を要請した、これに對しポチヨムキン次長は右要請を容れムルマンスクより報告あり次第直ちに報告する旨約諾したと解される、但し目下のところソ聯政府がシテイ・オヴ・フリント號に對し如何なる處置に出るか不明である

牛疫流行地の畜牛他移出入禁止

政府は家畜資源確保の重要性に鑑み牛疫豫防に大童であるが、これが豫防對策に萬全を期するため左記地域に於ける畜牛並にその肉、骨皮革類その他病毒傳播の虞ある物品の移出入を十月二十日より當分の間停止することになり、產業部大臣名を以て二十五日佈告を發した、但し地方行政官署及家畜檢疫所に於て檢疫の結果檢疫證を交付されたもの及鐵道（船舶）により單にその地域を通過するものはこの規定から除外されることになつてゐる

△禁止地域

一、吉林省內　吉林市、額穆、敦化、樺甸、磐石、伊通、九臺、樺樹、舒蘭、郭爾羅斯前旗

二、牡丹江省內　牡丹江市、寧安、穆稜、綏陽

三、濱江省の內　五常縣

四、間島省　一圓

五、通化省　一圓

南昌西南方に於ける殲滅戰戰果

【南昌廿四日發國通】去る十九日以來秋色深き錦江北岸祥符觀（南昌西南方四十キロ）附近一帶に蠢動する敵を捕捉反覆掃蕩した竹內、黑田、寺尾、市川等の各部隊は全くその目的を完了、敵の企圖を未然に崩壞しこれを潰滅せしめた、綜合戰果左の如し

△敵遺棄屍體二百六十六△捕虜五△鹵獲品＝橋關銃二、小銃三十、小銃彈藥七千七百發、その他手榴彈防毒面等多數

藥石毒語　佐藤□齋（六）

支那國論の二大轉換（一八）

[illegible]ら耳だるきまでに聞かるゝことは君は日本人か支那人かといふ言葉である、事實外人の目から見れば日支人を區別し能はざるまでに酷似してゐるこの同胞にも等しき兩國民が提携扶持してゆくことは天の宿命であり天理である

覩よ西歐の人々が我等東方民族に加へたる橫暴と殘忍行爲の數々を、彼等は我等に戰爭の道具と人類の敵たる鴉片とを賣付けて年々莫大の利得を收むる外に何等我等の平和と幸福とに寄與した事はない今にして彼等が東方殘害の惡辣政策を芟除するに非れば救ふべからざる大事に立到ることは火を睹るより明かである

然しながらこの禍を一掃するには日支兩國の提携扶持を先決問題とする、日本の勇武と我國の物資と物心兩方面合璧律成して始めて此事業が完成される此の一方面より觀るも日支兩國の精神的結合は一日も忽諸に付すべからざるものである

孫は青年時代より英人に親交者多く又嘗ては危機一髮の際にロンドンで英國に助けられた因緣もあれど英國東漸の橫暴化せる勢力は必ず支那の獨立を毒蝕するものとして其死の直前まで其勢力擊退を熟慮してゐた、英を敵とし日本と提携し亞細亞を平和の光に包まんとするのが彼の理想であつたと評するのが最も正鵠に中れる言であらう

□　□

彼が三民主義は第一に民權主義なるものを說いてゐる、彼は統一の事業といふ事に就て一生涯苦き經驗を滿喫してゐた、彼は川島浪速翁の言を引用して支那人は一片の散沙に等しいと前提し、この沙にも似た支那人を一統の治下に置かんとするには古の禹湯文武周公孔子にも代るべき萬能政府を組織して支那を統治するに非ざれば實際政治は到底行はれずと明々地に中央集權の必要を述べ更に政治は聰明睿智の獨裁に限るとまで强調してゐる

第一革命より二次三次と失敗と失脚との交響樂に惱まされた孫は沁み〲と共和政治なるものゝ支那民族には不適當なることを痛感し、今の世に古の聖王ありて斯民を統治さるれば吾は復た何をか言はんや不幸にして古の堯舜禹湯なし萬已を得ず萬能政府を組織して聖王政治に代らんとするものなりと彼は繰返し繰返し其理想の在る所を述べてゐる、是等の言は支那の實際統治に當るものゝ大に考慮すべき所である

孫は民權主義に次で民族主義なるものを發表した、この民族主義が解釋の仕方によりては排外思想の鏑矢として重大なる結果を招來すべき危險は十二分に含まれてゐる、況んや蔣介石の如く功利一點張の心境から國民思想を排外の一路に躍進せしめて陰かに自己の地盤を强化せんとする者に於てをや、名刀も持手によりては正義の刄として破邪の功德を施すけれども盜賊に持たせれば人殺しの道具に使はるゝのみである

□　□

孫の說ける民族主義の要領や如何、曰く支那はこゝ二三十年人民の數なる四億萬人と通稱されてゐる然かし實際は三億七八千萬位なるべしとも稱されてゐる、數學者の定說として物資の增殖率は數學的であるが人口の繁殖率は幾何學的であるといふ事になつてゐる

其實證として日本を引例せよ、日本の人口は明治二十年頃は三千五六百萬しかなかつたが後二十四五年にして其倍數六千萬人に殖えてゐる、支那全國の氣候は概して中和溫暖であり人類安息の土地柄である、而かも衣食の物資は海外に輸出するほど過剩ある產出に富んでゐる、孰れの條件も日本に比して有利であるのに人口の繁殖が二十年一日の如く四億萬を超過せぬといふ事には大なる原因が無ければならぬ（此項つゞく）

商況　廿五日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）　寄付　大引

●奉天株式（短期）　寄付　大引

五大新満新満同鐘大満同豆土　品新東業紡新鐵新木新　[illegible]

手形交換高（廿五日）

[illegible]

本年度競馬總決算

雨中に見る大熱戰

（三）春季第三次の異彩

春季競馬の名殘りを告げる第三次レースは滿都ファンの待望に應へて、六月二十一日の端午節を初日に開幕したのであつたが前日來の雨模様に氣遣はれて、これは第二次競馬の轍を踏むのではないかとさへ思はれた、第二次レースはまた近來に類例のない大穴競馬で、さすがの穴ファンも懐勘定に大穴を呈するといふ微苦笑を禁じ得なかつた程である、初日競馬は例によつて本命競馬を豫想された通り、殆んど前半馬の活躍に終始したのであつたが、中穴好配の數々を擧げ得ることを多とした い初日競馬に於て各抽の幸幸鞍山藤等は轡を並べて一鞍を上げたが、この兩馬によつて二つの新記錄を樹立されたることを特筆したい、即ち幸幸は第一日の第五競馬抽古二二〇〇米に於てカンカン七十四キロを背負ひ二分五十九秒のタイムを出し並み居るファンをアツと云はして幸幸未だ強しの感を發揮したのであつた、幸幸は當場各抽界の名馬として知られ康德四年春抽となつて以來今日まで二十四勝の勝利度數を治めてゐる駿馬だ、尚同日第二次レース各抽優勝馬の鞍山藤は第六競馬抽古方變二、〇〇〇米に於て二分四十八秒四の新レコードを樹立してゐるが、これは同馬が春二次に於て自らつくつた二分四十七秒一の記錄を破つてゐるもので悠々たる馬格の片鱗を示すものであらう

◈　◈

當季間に於ける活躍馬は前季レースと略ぼ同様であるが最も印象的な好レースとして今尚ほ記憶に殘るものは第五日目第九競馬の抽籤古馬ハンデイキヤツプ千八百米であつた當レースの出場馬は金鵄、睦月、鳥渡、第二春花、大江戸午隆、天里矢、壽飛威登、玄洋、鵬鯤等であつた、殊に興味を加へたのは雨馬場に盛る波瀾の一戰である、バックストレッチから一かたまりとなつて第四コーナーに掛つた各馬は脚いろを變へホームストレッチへ猛烈なダッシュの姿勢を取つた、何にしろ馬場は水田の如き有様で人馬諸共泥まみれの凄愴さである、レースは白熱戰を演じつゝゴールに迫つた、息詰る瞬間、ゴール寸前五十米、時に大江戸グングン伸びてゴールに入つたこの一戰こそ未だに忘れ得ぬレースであるが、大江戸位また終始一貫頑張り強い馬はなかつた、本季もその好調報いられ遂に第三次各抽障碍優勝の覇權を握つたが、今は二十五勝引退馬として昔日の夢を乘せてゐるであらう

◈　◈　◈

本季優勝競馬は七月九日、降雨に祟られつゝ熱戰を展開したが特筆せねばならない外馬優勝レースがある、曾つて筆者は本年度競馬開始前に久保田厩舍の旭正健在なりと喝破したものであるが、往年の旭正再び擡頭して第三次外馬優勝の榮冠を獲ち得た時ひそかに滿を持したのであつた、春抽新馬優勝レースは一般ファンより青燕の三連覇を豫想されてゐたが、故障氣味にて調子惡く玉鹿毛の制覇するところとなつた、青燕の馬格に一沫の寂漠を感じた程である、來春邊り再び立直れば各抽一流馬に伍して堂々たるレースを展開するだらう、各抽優勝を制覇せる午隆等も康德六年度の春抽としては躍進組の筆頭であらう

◈　◈　◈

競馬ファンに取つて穴馬位愉快なものはない、然しこれは各々その見解のあるところで參考までに春三次の穴馬五十圓以上を拾つて見よう、第二日目に玄洋の八十圓八十錢同じく鵬鯤の六十八圓三十錢第三日目に壽飛威登九十八圓八十錢、第四日目に甲子九十六圓三十錢、同じく惠祥五十九圓九十錢、第七日目に第二濱龍八十二圓四十錢、第八日目の外馬優勝に旭正の六十四圓三十錢であつた

（野口文治）

卅年前を語る　謎の極東外交

伊藤公の遭難

（下）雪降る最期の日

伊藤公狙撃さる

貴賓車から降りた伊藤公はコ藏相から東清鐵道及び護境軍團の各部吏官を紹介されその重なるものに一々握手を交しコ藏相が先導で露國儀仗兵の整列した前面を右より左に向ひ閲兵し儀仗兵の端に居並ぶ各國領事團、露清兩國各官憲代表者と交歡、更に哈爾濱ベルグ市長と握手した後踵を返して再び儀仗兵の閲兵に移つた、伊藤公は藏相の右側にやゝ後れて進み、その後を川上領事が進んでゐたところ、この時露國儀仗兵の左翼より（安重根は日本人出迎者の列より出たともいふ）二三、後列の前方でフロックコートに正裝した朝鮮人が一名、突如拳銃を伊藤公に擬し、公の左側より斜に數發を連射した、この瞬間伊藤公は銃聲の起つた方向を振り向き、一寸佇立し「何者ぞ」と低聲であつたが極めて底力ある聲で一喝し、急に倒れさうな氣配を示したので、始めて公の身に異變あるを知つたコ藏相は右手をもつて公の身體を支へ室田、古谷、中村各氏がこれを抱いて直ちに列車内のサロンに運び入れた、交驩の和氣滿ちてゐた停車場に時ならぬ銃聲、最初の一彈は音が低かつたために一般人は支那人の爆竹位ゐにしか感じなかつたが四發目を聞いて何人も一齊に不吉の感に襲はれ一同緊張、殺氣がグツト漲るを覺えしめた、その時一露人が「ヤポーネツ・ヤポンツア」（日本人が日本人を）と叫び、それと前後して露國の儀仗兵が露式軍刀を中天に振かざし雪崩を打つて公の遭難地點に殺到、ホームは一瞬修羅場と化した、その内に「ギヤアー」といふ苦悶の聲が聞え間もなく兇漢は露軍の手に逮捕されたが、兇彈六發の中三發は伊藤公に命中後の三發は森、川上、田中の隨員に命中負傷させ、また流彈は中村是公氏のヅボンを貫通、幸ひ事なきを得たが、第一彈は川上總領事に命中したとも傳へられてゐる、犯人は卅一歳の青年朝鮮人安重根であつた

哈爾濱驛に散る

伊藤公の遭難に隨員小山醫師はホームに居合せた日本人醫師森橋、成田十郎、志方虎之助氏及び露人醫と協力、公をサロンの中央にあつた大卓子に運び毛布を敷いてその上に横臥させ、應急手當を行つたがコ藏相は終始、伊藤公の枕頭に侍し長椅子の枕を自から公の頭下に當てる等懇切な介抱をなし心からなる友情を示した、伊藤公は重傷にも屈する色なくブランデーを一杯グウと飲み神色自若たるものがあつたが、如何んせん重傷の事とて衰弱の徴候は刻々と現れ、室内は深い憂色に閉されて行つた、やがて公は「俺は駄目だ、誰が他に怪我はないか」と低聲で問ふたのに對し森塊南氏が負傷したと告げると「オ、森もやられたか」とかすかにもらしこの言葉を最後として公の容體は急變、室田、古谷の侍官が枕頭に遺言を求めたけれども時既に遲し昏睡狀態に陷つて、一言も發せず、明治四十二年十月廿六日午前十時を以つて溘焉として薨去された、醫師の診斷によれば伊藤公の傷狀は三ケ所第一彈は右上膊中央外面の一部を皷部貫通をなし更に右側胸第七肋間に向ひ水平に兩肺を貫き彈丸は左の肺に達し、第二彈は右肘關節を通じ第九肋間より心窩部に向ふ貫通銃創で第三彈は上腹部の中央より右側に射入、左直腸筋に達する何れも致命傷であつたといはれる

コ露藏相の述懐

伊藤公の遭難に對し露國が如何に公の死を悼んだか公の遭難直後もらした左のココーフツオフ大藏大臣の述懐によつて察せられ伊藤公が遭難せず生存しハルビンに於ける日露の會談が圓滿に進められたとしたならば今日果して如何なる成果を結んでゐた事であらうか、日ソ國交險惡を傳へてゐる折柄三十年前を懷舊して感慨又一入深いものがある

悲慘なる最後を遂げし世界の偉人、伊藤公爵の遺骸の前に立てる余は何等語るところ知らざるを覺ゆ、御遭難の際余は誰よりも近く公爵に接近し居たり、その當時、余は余自身の危險範圍にあるを忘れてゐた、余は第一に公爵の身體を抱きさゝえたり、（中略）余が如何に愁傷に堪えずあるか諸君の御賢察を乞ふ次第なり公の來哈は空しき旅行にてはあらざりしを確信する、日露兩國の親和は公と余との親しき會見によつて温められ、且つ成育さるべきものと信じて樂みとせしに、然るに未だ意思の詳かなる交換をなさゞるに先立ちて公は逝けり、兩國のため深く遺憾となさゞるを得ず、然し余は確信す、人は死し得、但しその主義となせるところは死する能はざるなりと、伊藤公の來哈は斯の如き悲しき出來事に終りぬ、然れども余は確信熱望す、公の薨去は日露將來の親和に對し單にその障碍とならざるのみならず寧ろ今回の不幸は將來における兩國親和の幸福を生む有力なる端緒たらんことを（後略）

【寫眞は公の遺骸、軍艦で横須賀到着】

吉林省大布蘇湖の天然曹達工業化

年產四千噸を目標

工業鹽の使用は化學工業の躍進に伴ひ急增を示し年々多量を輸入に仰いでゐる現狀に鑑み政府はこれが資源開發に努力しつゝあつたが滿洲にはこれ等炭酸加里、硫酸加里等鹽類を多量に含む鹹湖が至るところに散在し、有望資源となつてゐるのゝ未だ調査が行はれずそのまゝ放置されてゐる狀態に鑑み今回愈々滿洲曹達の手により大掛りな天然曹達の工業化に乘出すことになつた

目的湖は吉林省大布蘇湖でこの湖より滿曹の手によりアルカリ類の採取を行ふと共に精製工業を起さんとするものである、同湖に含有するアルカリ類については既に昭和三年一月、三月の兩度に亘り滿鐵により調査され昨年六月、本年二月大陸科學院、專賣總署、滿曹產業部等の共同調査により折紙がつけられるに至つたものである

滿洲曹達會社は初年度事業費約三十數萬圓を投じ年產四千噸目標として炭酸、曹達混合鹽を生產、これより加里系統鹽の精製に乘出さんとするもので、開發計畫については既に具體策を樹立、當局に開發許可方を申請中であり當局も加里鹽類の重要性に鑑み近く許可するものと見られ滿曹としても許可あり次第直ちに採取に着手する筈である

校長さんも視察

兒童の開拓思想指導に先立ち　來月十日國都着豫定

【東京國通】東京市では目下高等小學校兒童の拓植運動を熱心に行つてゐるが來年度には義勇軍東京中隊を編成送り出す方針でこれがため下谷高等小學校長下川兵次郎、日本橋高等小學校長進藤顯正、藏前高等小學校長大西文太、中野高等小學校長細谷章、京華尋常小學校長橋本健太郎の五氏が開拓地の視察を行ふことになり一行は廿四日上野發渡滿することになつた、即ち東京市では高等小學卒業者の目の前に昨今一圓二圓の賃銀で就職があるがこれは比較的に永久的安定性を缺くものが多く生涯を賃銀勞務者として終る結果となるが青少年義勇軍の方は三年の後には十町歩の自作農として獨立するとゝもに國策的な使命を果すものであるからとの見地から都會の兒童とても個性に應じてどしどし大陸に發展せしむべきであるとの兒童職業指導の新方針に基く企でこの點非常に注目されてゐる、尚下川氏等一行の日程は廿五日午後十時卅七分上野發廿六日午後三時新潟出港の月山丸で朝鮮經由廿九日牡丹江、卅日勃利、一、二三日千振四、五日綏化、五六日鐵山峰、七、八日哈爾濱と視察し十日新京着の豫定、出發を前に下川校長は語る

東京の兒童と云つても大方は地方出の子供である、毎年卒業兒童は三萬人あるがこれに對する求人は七、八萬でかういふ條件の中でなにも滿洲へやる必要はないと云ふ議論も出るかもしれぬが個性に應して大陸に發展さすべきである、敎育とはこせこせした月給取りをところてんのやうにおし出す處でなく個性を伸びる方へ伸ばすことである

名古屋ホテル　開館は明春

百五十萬圓の株式會社として更生した國都第一を誇る名古屋ホテルは大衆の要望に副ふべく凡有る新施設を考慮し工程を急ぎ、十一月三日明治節の佳辰をトして盛大に開館の豫定であつたが、資材難其他の都合によつて明春に持ち越される模樣である

百五十圓マル損

日本橋通二四川上ビル淺海原一さん方飯塚堤（二五）さんは二十四日午後三時頃市公署前で顏見知りの大阪市港區生れ住所不定安部信行（二〇）に出遭ひ安部が金を一寸でいゝから貸してくれないか唯相手に見せて僕の將來を定めるんだからと云はれて堤さんは持ち合せの百五十圓を渡したところ市公署に入つたまゝ行方を晦してしまつたので四道街署に訴へ出た

新京取引所　卅一日閉廳式

新京官營取引所は今回特產專管制度實施の國策に基き本月末日限り廢止の發令を見たので、玆に過去二十四年に亘る光榮の歴史を閉づることゝなり來る三十一日午前十時を期し閉廳式を擧行する

●寳山の格安賣出し● 百貨店寳山では三十日まで吳服格安賣出し中であるが紳士用雜貨婦人子供用雜貨、防寒草履特賣、防寒コート賣出し、瀬戸物市等もある

●三中井の祝着賣出し● 百貨店三中井では子供達の健やかな成長を壽ぐ七五三の祝ひが近づいたので祝着賣出し、晴着別誂會新型子供服賣出しを開始してゐる

●滿喜屋の大賣出し● 市内ダイヤ街の滿喜屋吳服店では二十八日まで新柄荷そろひ赤札附大賣出しを行ふ、新興大島同銘仙を始め各種の特價品を山積してゐる

偶語

滿洲つて所は面白い所だよ實力ある仁は不遇に泣きその反對に糞にもならん輩が幅を利かすのだから思ひやられると吐き出すやうに言つて滿洲から姿を消した男がある▼その當時何と云ふ小心者だらうとその意氣地なさを嘲笑つたのであるが、近頃になつてその男の言つたことがだんだん分つて來るやうな氣がするのである▼支那三千年の歴史を繙いても實力を持たずして口のうまい奴の跳梁した時代は必ず天下が亂れた▼それは當然のことである、凡そ口八丁手八丁といふ仁は稀にして口八丁の輩は必ず手の方は零である、また口の方が零の仁に手八丁が多い▼滿洲の現在を觀るに口のお蔭でその實力に數十倍する厚遇をうけてゐる人々の何と多きことよ▼民族協和だの王道樂土だの大聲叱呼したところで台所政策派の跳梁する限りそれは百年河清を俟つにひとしきこととならん

平型の淺鍋が最も早く沸騰する

鍋とコンロの釣合が大切だ

金屬別では銅とアルミ

ガスの節約の再檢討

極端にいへば、いかに瓦斯コンロを充分に使つてもその上にかける容器が熱の不傳導體であつては一日たつても中の水すら沸騰しないでせう、そこでどういふ容器を擇ぶべきかゞ問題になるのですが、まづ材料の熱の傳導度から調べて見ますと、銅は〇・八で一番よく、次いでアルマイト〇・三二、アルミ〇・三、鐵〇・一五の順で磁器及び瀬戸引（硝子磁器性のエナメル塗り）の〇・〇〇三が一番惡くなつてゐます、しかし實際は銅鍋よりもアルミ鍋の方が早く湯が沸いたり、時には一番傳導率の惡い瀬戸引鍋が良い事實を現したりします

◇―――◇

之は容器の出來工合、つまり厚さにも關係いたしませうが、要は鍋とか釜、藥罐等の一つの型になつたものは單に傳導度だけでは決められないで、その形が材料以上の影響があることを示してゐるのです、ではどんな形がよいか？といふに、結局、熱を無駄なく受ける點から「深さが淺くて底廣のもの」がよいことになります、即ち平常の煮炊きには、平型、淺鍋がお得なのです、次は底面が黒いか白いかの點でありますが、大體論として黒い方がよろしいのです、つまり、黒い方が熱をよく吸收するからなのですが、この場合の熱は輻射熱に限られてゐます

◇―――◇

瓦斯の場合はどうかといふとこの輻射熱が殆んどなく、大半が對流熱でありますからあまり神經に病む必要はないでせう、たゞ炭火の如きでは五十%は輻射熱ですから、之を完全にとるかとらぬかでは大きい相違ができます、從つて鍋底は常に黒くしておくことが大切で、これは木炭に限らず、瓦斯以外のすべての燃料についてさう云ふことが出來ます、油煙のない程度のすゝけ方などもこの點から大變によいわけで、尚黒塗りするなら、黒鉛粉末を藥屋から五錢も求め、水でドロ〳〵にといて塗りつけるのがよいでせう

◇―――◇

第三は鍋とコンロとの釣り合ひが大切な問題となります

コンロが大きくて鍋が小さければ、熱がまはりから逃げますから、大變無駄になります（假令、釣り合ひがよくても焔を大きくすればこれと同樣ですから、急がない場合はコックの全開はさける方がよい）この點、コンロは大小二個用意しておくか、親子コンロを求めるかでありますが、新調は時節柄遠慮すべきでありますから、こゝに工夫を考案しなければなりません

◇―――◇

1、焔を小さくすること（開閉コックを半開にして）しかしこの際、焔が不完全燃燒をおこしてヘラ〳〵してゐるのではかへつて損ですから、この場合は空氣孔其の他をよく掃除する一方七厘と噴出孔の螺旋をはづして噴出孔の周圍を叩き、噴出孔を狹めます

2、從來のコンロでは、どうしても外側の焔が鍋の周圍に出て困るといふ場合の改良法は、二列の孔の外側に鋲釘をつめて孔を塞ぐことです

◇―――◇

第四は、コンロと容器との距離で、瓦斯の完全燃燒の焔が鍋釜の底にふれ乍ら、先が少しまがる程度が一番よいのです、容器との距離が長かつたり、短かつたりしては不經濟です、殊に、釜には釜框を用ゐますが、これが不合理で釜底がコンロから五糎も六糎も上つたりすると大變損をします、合つた框を使用せぬ時は、實驗によりますと、框を全然使はないよりもかへつて十%も損をしてゐます（不使用二十%、合はぬもの三十%の損）

十歳前のむし齒

放置しておけません

子供は十一才から十二才ごろまでの間に二十本の亂齒がすつかり拔けて、新しく二十本の永久齒が生えて來ます乳齒に虫齒があつて、特にこのため齒の神經が死に、齒の根の方に膿瘍が出來てゐたりすると、このため永久齒の石灰化の障害が起り、琺瑯質の非常にもろい、むし齒にかゝりやすい齒が出來ます、又健康な乳齒ですと、一定の時期がくると根の方から吸收されて永久齒の生える場所がつくられますが、乳齒がむし齒になつてゐると、一定の時期が來ても脱落しないので、永久齒の生える邪魔になり、そのため場所をかへて生えたり、變つた時期に生えたりして結局齒ならびを惡くしてしまひます

リツプレー博士 近く來滿

【ニューヨーク廿三日發國通】世界中の珍しい事實を拾ひ蒐めて「信じ得るや否や」といふ題名の下にハースト系諸新聞紙上に掲げ人氣を博してゐる米國の物識り博士ロバート・リツプレー氏は極東の珍聞奇話を蒐集のため寫眞師一名を伴ひ二ケ月の豫定で日滿支へ出かけることとなつた、多分十一月四日サンフランシスコ出帆の郵船淺間丸に便乘する見込みである、なほ淺間丸にはこの外に二名の珍客が日本に向ふ筈でその一人はアトランタ・ステーツマン紙の經營者たるハアーマン・タルマツヂツヂ氏で日滿支新情勢を視察しやうとて夫人同伴出發することゝなつてゐる、他の一人はアトランタ・ジョージア紙の婦人運動記者エヂアンジエリン・マツクレナン孃でテニスや水泳の南部女子選手權を幾つも持ち日本のスポーツ界とも接觸を希望してゐるスポーツガールだ

全滿洲庭球軍 日本遠征記（六）

愛知、大阪軍と對戰 接戰の後何れも惜敗

九月一日

金鯱城頭より吹き下す朝風に今日の鶴舞公園はラケツトを通じて日滿親善の度をよりよく强化する事であらう、試合は午後一時から開始、滿洲軍は定刻より三十分前にコートにて練習する、やがて支部長の開會の辭に次いで市長の挨拶あり、各方面からの祝辭代讀後型によつて試合の火蓋は切つて落された、戰跡は次の通りである

（全滿洲）（全愛知）

本間、植村3—5久保田、古橋
金明、堀内1—4各務、正木
磯崎、疋田0—4村瀬、山名
向井、江崎6—1土橋、安藤
廣野、金文0—4山本、三溝
長與、三宅1—4河野、龜井
嚴、李4—1正木、安富

◇優退者戰

向井、江崎4—1久保田、古橋
嚴、李4—1各務、正木
向井、江崎2—4村瀬、山名
嚴、李4—2山本、三溝
嚴、李1—4河野、龍井

戰跡上から見ても嚴組の壓倒に當然勝たなくてはならぬ滿洲軍がなぜ敗けたか、本間、植村組は其の責任の重大なるものがあらう、と同時に向井、江崎組の活躍は試合前半では名古屋の主將村瀬、山名組をやりつけたかと思はれる程の當りを見せてゐたが、後半に於て敗れたのは遺憾であつた特に嚴組の如き河野、龜井組を輕く一蹴しなくてはならぬ筈のものを、河野のサーヴイスに氣をくさらして四—一で破れたのは殘念至極、河野組を破つてゐたら日比谷で見られなかつた嚴組と、村瀬組との一騎打ちがフアンにどれ程興味を持たせたものであらうか、村瀬君も試合が了つてから「愛知が作戰上効を奏したからとは言へ、河野組が破れたら次は吾々の組であるが、そうなると嚴君の球では防げないネ、實は試合をして見たくもあるし、試合すれば敗けることは必條で、困つてゐたが、河野組が、勝つたのでヤレ〳〵と思つた」と語つてゐた、或はそうかも知れない。

九月二日

大阪に着いたのが一日の午後十一時過ぎ驛頭には若林君を始め役員多數の出迎へを受け其の夜は指定旅館に止宿す、明けて二日午前十時からアサヒビールコートで兩軍の試合が決行されたが、成績は次の通りである

（大阪軍）（滿洲軍）

永田、遠藤4—1金、堀内
野上、梶間2—4嚴、李
嵯峨、百山4—2向井、江崎
津谷、伊藤4—1長與、三宅
野々宮・遠藤4—0廣野、金文
岸本、增田4—0磯崎、疋田
平野、渡邊5—3本間、植村

◇優退者戰

永田、遠藤1—4嚴、李
嵯峨、百山6—4嚴、李

試合終了後市長の招待宴に臨

歌壇・俳壇 有名人の本職

どちらが内職か？

石榑千亦は、馬鹿に海の歌が多いと思つたら、本職は帝國水難救濟會の理事で、日本近海はどこにどんな岩があるかまでチャーンと暗んじて居るといつた「海のエキスパート」であつた「覇王樹」の臼井大翼は、東大獨法科出身の辯護士、これは同じく東大經濟科出身で、百姓歌人として知られた吉植庄亮の代議士

稼業 といゝ取組である。それから文學士ではあるが、久しく住友の大重役に納つて居た竹柏門の川田順も、本職調べに些か逸すべからざる存在といへやう、更に「水甕」の盟主尾上柴舟は女高師の勅任教授であり、釋迢空―本名折口信夫―が國學院大學、窪田空穗が早稻田大學なんど、それ〴〵教鞭を持つのが本職であるが、學校の先生の歌作りはもうザラ、それからこの頃、とても變つた歌風―一寸した短文位はある―で、昔の彼を知るものをして驚かしめて居る前田夕暮は材木屋とか薪炭屋だとかいはれて居るが、事實はそのすべてを包括した山林業者で、その歌集にも「原生林」などがある。「アラヽギ」派の大御所齋藤茂吉、これは人も知る醫學博士で、神經系科の專攻者、有名な青山腦病院の院長さんがその本職だ、尚

閣下 歌人といふところでは、今度「波濤」を出した齋劉が、二、二六事件にも一寸名前の出た、陸軍少將齋藤劉なのである、次に俳句の方であるが、俳人としてよりは、比較的その本職に於て知られた人々を擧げてみると「縣葵」の大谷句佛が有名な本願寺の前法主「ホト、ギス」派の富安風生が一時遞信省に俳句を大流行させ遞信次官であつたことなど先づ思ひつく、それから「馬醉木」主宰の水原秋櫻子が、本業は立派な御醫者さんで、昭和醫專の教授に兼ねて侍醫寮御用掛などを拜命して居る、實業家では大場白水郎が宮山製作所の取締役、籾山梓月こと上川井梨葉が籾山書店の代表取締役、塚本虚明が三和系の三融證券取締役會長、坪谷水哉が大日本印刷の

重役 といつたところなど些か目立つて居る、それから一寸變つた方面では、佐藤肋骨が陸軍少將で喜谷六花が下谷梅林寺の和尚さん、小野蕪子の小野賢一郎がJOAKの文藝部長といふのがよく知られて居る、又井上日石が芝浦製作所の囑託、隨筆家で、俳人、そして又、奇人として名高い内田百閒が日本郵船の囑託、ホト、ギス門下の西山泊雲が西宮の釀造家である

青少年義勇軍を見る

金勝久

（二）

「オヤ〳〵、こゝで逃げられては萬事休す」だわいと勇敢にトラックの運ちやんにきいて見た。

「此れ、訓練所へ行きます？」

「えゝ、だけど定員が決つて居りますからのれませんよ」

「そいつは困つた、是非頼むよ、はるばるきたんだから」

プーブー、いやに氣をもませる音をたてる。「コン畜生」と思つたが、矢張り「三十六計頼み込み」の一手だと思つて。

「ねい、一つ、きみなんとかしてくれないか？」

「あそこにゐられるのが所長さんだからおきゝ下さい」ブーブー、ブー、

見ると、中學生の着るやうな國防色の粗服に黒ゲートルをつけた人が、どちらかといへばあまりぱつとせず立つてゐた、來意を話して名刺を出すと、「私が所長です、どうぞ遠慮なく御乘り下さい」とあつさりいつた。

なんだい、いやに簡單なので一寸拍子拔けしたが、「燕雀いづくんぞ鴻鵠の志を知んや」とはなる程、陳渉は旨い事をいつたわいと、いささか得意になり「やつぱり、所長位になる人は話せば解る男だわい」と感心した。

×　×

埃と凸凹だけで出來てゐるといつた感じの一本道を二十分程揺られる、いや、トラックに下から叩き上げられる。

黄塵萬丈、立ち上る埃は九月の太陽を隱蔽せん許りの物凄さである、それにしても、今の世によくある「人情のつれなさ」に比べたら、まだ我慢出來るわいと考へ出したらガタンと止つた。着いたのではなくて、「馬鹿な事を考へるんぢやない」とエンヂンの奴つむじを曲げたのか、兎に角動かなくなつた、トラックによくある現象だと、氣にもとめずにゐたら、何時の間にか又動き出した。

×　×

大平原のあちこちに朝鮮家屋のやうな粗末な小屋がチラホラしはじめた。

これが有名な大訓練所の聖地である。

白樺の丸木を二本たてた玄關らしいものを通り越したが路はやはり埃で一杯だ、然し兩側の綠草は一段と綠こく萬里果なく續いてゐるのはすばらしい、だがあの埃のためか水は大部惡いらしく黄色く濁つてゐる。

×　×

先づ、食堂で中食を御馳走になる、まるで蠅の巣に入つた見たいで、眞黒い大きな奴が拂へども〳〵臆面もなく襲ひかゝるのには全く閉口したでも、香のものと、テツカ味噌と天婦羅の御馳走ははらわたにしみて旨かつた。

×　×

本部で種々な話をきいた、本部といつても極く粗末な假小屋で、總務、經理、庶務の三つの部屋に仕切られてゐた此の中動く人影は余人ならぬ全訓練所を統率する所長はじめ各大隊長といふ幹部連である。

入りしなに氣がついたのであるが、此處にも二本の大きな白樺を無雜作に突立てて玄關代りにしてゐたのは粗朴であり優雅であるやうに思はれた。

先づお茶を一杯御馳走になり、忙がしい中を親切にいろ〳〵と説明して下さつた所長の話を、生徒の製造にかゝるといふお茶菓子をつゝき乍らきいて見た。

ラヂオ けふの番組

【M・T・C・Y 新京放送局】廿六日【木曜日】

―朝―

七、〇〇（新京）ニュース
七、〇〇 建國體操
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）ニュース
七、三〇（大連）中等滿洲語講座
七、五五（大連）朝の音樂 幸勉（レコード）バスーンと管絃樂の爲の協奏曲（モーツアルト作曲）バスーン・ウーブツドウス、管絃樂ビゴー管絃樂團、指揮ビゴー
八、二〇（新京）氣象通報
八、五〇（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大連）經濟市況
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間「童謠遊び」鬪の花コドモ會
一〇、二〇（哈爾濱）母の時間「赤ちやんの齒の話」安理剛
一〇、四五（哈爾濱）家庭メモ
一〇、五〇（哈爾濱）料理獻立
一一、〇〇（哈爾濱）伊藤公胸像遷座式實況「伊藤公遭難三十年忌＝哈爾濱驛遭難現場より中繼＝アナウンサー平山六郎
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

―晝―

〇、〇一（新京）晝の演藝輕音樂（レコード）越後獅子（ポリドール・ダンネ・オーケストラ）元祿花見踊（同）潮來追分（田中允山）四赤誠しぐれ（同）船頭可愛いや（ポリス・ラス他）ドン・ホセ（ポリドール・ダンス・オーケストラ）皇國の母（コロンビヤ・オーケストラ）赤い翼（ポリドール・ダンス・オーケストラ）
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大連）經濟市況
二、一〇（大連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東新）ニュース
四、〇〇（新京）氣象通報
四、四〇（大連）經濟市況
五、二〇（奉天）ニュース「鮮語」
（奉天）演藝「鮮語」

―夜―

六、〇〇（東京）子供の時間 音樂劇（十）森の鍛冶屋（ミヒヤエリス・作曲、堀正旗作）大阪音樂劇研究會
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座
七、〇〇（東・新）ニュース 櫻木新吾
七、〇〇（新京）告知事項・今晩の番組
七、三〇（新京）國民の時間
七、四〇（安東）朝鮮新歌曲（安東輕音樂團）一、新義州の波止場、二、青春の丘他
八、〇〇（東京）講談「一休と蜷川の智慧競べ」邑井貞吉
八、三〇（東京）防空讀本（三）防空消防
八、四〇（東京）時局談話「大陸建設の近狀を語る座談會」司會横山實、商工省鑛政局長小倉義照、谷川徹三、鐵道書記官高須俊一、農學博士那須浩
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解説
（新京）ニュース・氣象通報・告知事項・明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

東京無線

講談 一休と蜷川の智慧競べ

【午後八時東京より】邑井貞吉

京都紫野大德寺の侍職一休は笑ひの中に一生を送つた奇僧であつた、其の頃鷹ケ峰に之又奇人で有名な寺社奉行蜷川新左衛門が居た、或る一日蜷川は大德寺に一休を訪ねた、取次の小僧に「何人樣か」と問はれ「男だ」と答へた、その由を一休に取次ぐと「面白い、御國は何處か」と聞けと云はれる、取次の小坊主が蜷川に「御國はどちらで」と尋ねると「大日本、汝と同國」といふ、驚いて一休に告げると「それでは兩親があるかと聞け」取次が又出て「兩親が御座いますか」蜷川「父母は天地乾坤地水火風共に我が父母である」といふ、この言葉を聞いた一休は「貴下の國の寶は何か」―と尋ねさせる「雀はないて忠といひ、烏はないて孝と云ふ」又之を一休に傳へる、一休は面白い忠孝は國の御寶……蜷川新左衛門殿に此方へと申せの言葉に取次は「師には御存じで御座居ますか」と笑ひながら此の旨を傳へる、蜷川も笑つて案内をされ一休に會ふ、互の禮終つて蜷川は地獄極樂の有無を尋ねる、一休は有りと答へ、無いと答へ、これより兩奇人による禪問答が開始されるといふ一休と蜷川の智慧競べの一席

學藝

戲曲 日出（五六）

曹禺作　大内隆雄譯

小順子　お前つて子は、お父さんてなことばかり言つてゐるが、どうして客を取ることを考へんのだね？

小娘　（泣く）私だつて考へてはゐるわ――お客のことでも、お客に顔見世するとお客はみな私が小さいから嫌がるのよ、私を言つてくれないのよ、私どう仕様もないわ。

（小順子、四角な卓の傍に掛ける、窓の外に碗のかけらで板をたゝいて甚だ趣きのある「秦瓊發配」をうたふ（流水で）「この身、大街口に至る、一聲列位よはじめより聽かれよ、一に響馬兵賊寇に非ず、二に强盜誠をとつて投ずるにも非ず楊林我に言へり私かに賊寇に通ずと、これにより上發して登州に配到せしむ、大老爺の我にせる恩情の厚きを棄て得ず、衙門の衆班頭を捨て得ず、街坊四隣の好朋友を捨て得ず、老母の頭白くなれるはまことに捨て難し、兒はただ一塊の肉、兒は千里を行くに母憂ひを擔ふ、眼に紅日西山の役に墜つるを望む公淳なるを言ひて店に投ぜん」

その聲（うたひ終つて碗を烈しく鳴らし、また哀れげな聲を出して）錢のある旦那様方、お惠み下さい、私は家を遠く離れて此處で困つて居ります、この寒い多どうか宿錢を惠んで下さい錢のある旦那様方！

小娘　何時？

小順子　十二時過ぎだらう。

小娘　もう直ぐ閉めるんでせう？

小順子　まあ燈を落す頃だらう、だがはつきりとは判らん、まあ家もこの時間にドヤッと來るかも知れんからね。

小娘　（小順子を見、溜息を吐き）まあ、もう少しで濟むんでせう。

小順子　うゝん、もう少しやつたら客も歸らうが、お前眠れるかな？それは判らんまあ客が來てお前がいゝと言へば、その方が早く眠れるかも知れんて。

外で鋭い聲　そちらですよ、こちら（どうぞ、登つて下さい。）

小順子　客だ。（奥に向ひ）三姑娘、お客ですぜ。（小順子、水入れを持つて出て來る、翠喜が左の部屋から出て來る。）

翠　お前一人ぼんやりして何をしてゐるんだい？

小娘　何にもしてはゐません子供さんやすみました？

翠　眠つたよ。

外で鋭い聲　顔見世だよ！

翠　（小娘に）行つておいで

行つておいで。いゝお客をつかまへるんだよ、そしたらうまい具合に行くから。

小娘　（機械的に立ち上り）行くわ。

外の鋭い聲　顔見世だよ、どの部屋の者もみな出ておいで！顔見世だよ！

（小娘、翠喜に推し出される。）

外の鋭い聲　（一人一人藝名を呼びあげる）寶蘭、金桂、翠玉、海棠、黛玉…………（ベルが鳴る）

外の聲　さあこちらへ、さあどうぞ、旦那様どうぞ。こちらへお掛け下さい。

（小順子、簾を揭げる、福升と胡四が入つて來る。胡四は皮のオーバーを着てゐる模様のついた上衣、高い襟の服、絹の靴下、黒鍛の鞋西瓜帽子、白いシャツの袖が少し出てゐる、風流瀟洒たる格好で入つて來る。福升もやはり元氣たつぷりである、顔をテカテカさせてゐる、古い羊皮の袍子を着てゐる、その下にはボーイの制服を着てゐるのが見える、慌てて上から重ねて來たのだと思はれる、入つて來ると胡四はあたりとジロジロ見廻す、ハンカチを出して鼻を押へる。）

福　どうなさいました？

胡　何だかこの部屋はいやに臭ふな。（壁によせた角卓の傍の椅子に掛ける。）

福　（手で卓をこすり）服に氣をつけなさいよ。

胡　（急いで立ち上り、オーバーを拂ひ）畜生、けしからん場所だ。

福　（ペラペラと）四爺、私はこれであなたを此處に御案内したんだから、もう旅館に歸らなくちやなりません。

胡　（彼を引つぱり）いや、いかん、君は僕のお伴をするんだ、君は歸つちやいかん。

生活の色彩

西谷正夫

夥しい濫れのある生活感情である
郷愁の樹海にともる混聲合唱よ。
生活の色彩をかけめぐる
透明な生きる日の嘆きである
しみじみとありがたくこぼれ陽にひざまづく。
偽れぬ生活の幸福な春の訪れ
けふも惰性だと思ふ日の寂しさ
かはらぬ運命だとあきらめてゐる。

生活の新しい斷層に
烙きつけねばならない胸の火である
どこまでも靑い空であらうか
あたゝかい眞實が
すなほにうけいれられてゐる
そんな日のじぶんがしみじみとかなしく
なんの色もない生活意識
こんなくぼんだ思念が幸福だと思はれて
つゝましく反省をくりかへす
やすらひのひとみをとぢれば
かなしく匂ふ思ひで白いわびしさとなり
やはらかい理性に灯のかげをともす。
生活感情を喪失した私に心の靑空があらうか
うつむきながら純愛の告白をきいてゐる。
つきつめた心につめたい理性がそつと觸れてくる
爽かに燃える愛情である。
あまりに淸楚すぎる匂ひである
こよひもつゝましくうつむきとほいあやまちを鮮やかに感覺する。

創作 天井（三）

鮎川若彦

「紅茶がいゝの、番茶！」

桂吉が目をさますと、初子はガスをとめながらさう言つた。まるい黒い目が、娘の子の樣にかゞやいてみえた。ふと白粉を落した素顔の小じわが、目についた。默つてゐると。

「また後悔！」

「馬鹿な、どうしてそんなに若々しいのかとみてゐたところだ」

「いやよ、だつて心が若いからよ……」

「さうかな、まあ紅茶でもいたゞきませう」

桂吉は床の中で大きくあくびをした。

「つかれたのねえ……」

「休むかな……」

「いけないわ、さ、いゝ子だから起きなさい」

紅茶をのみながら、桂吉はまともに初子の顔をみることが出來なかつた。

「さあぢや行つて來やう」

どろぼう猫の樣にこつそり裏口からかへつて行くと、オーバーとカバンを下げて役所に出て行くのだつた。役所と言つても農事合作社と言ふ、内地の信用組合にあたる樣な仕事だつた、役所に出ても桂吉はあくびばかりしてゐた、電話で昨夜の天井落下の模樣を大家であるアルワイ自轉車店に通じた。すぐ職人には言ふが今日と言ふ譯には行くまいとの答だつた、三時になるのがまちどほい樣に桂吉はかへりをいそいだ、アパートと言つても支那家屋を改造した名ばかりのものだつた。田舍だからこそ日本人も住める家大連あたりに持つて來れば殆どかり手もあるまいと思はれる程のみすぼらしい家だつた

家の中にはいつて、昨夜の土をかたづけつゝきけば、花屋さんにはお客らしい。それも男の聲だ、昨日迄は、となりに男の聲をきいてもあまり何と思はぬ自分だつた。しかし今日の桂吉はさうではない耳をかべにあて、じつと話聲にきゝ入つた。

「今になつて別れたいと言ふのだね、それもよからう、だが其理由がわしにはのみこめないのだが、昨日まではどうともなかつたものが、今日になつて、急に道德的に云々と言ふ樣なことを言ひ出すなんて、あまり勝手すぎはしないかな……何か外に理由があるだらう」

「いえ外には何の理由もありません、あなたの御親切はほんとにありがたいですけれど……どうしても」

「ぢやどうだ、もう一ヶ月と言ふことにしやう。何に娘がかへると言ふでもなし、あなたが結婚しなければならぬと言ふ譯ではなし……」

桂吉はもうきいて居たくなかつた。わざとがたがたと棚からはちをおとした。押入れの戸をがたぴしも言はせてもみた

「ぢや、お前はお前で生きる途をたてるがよい、今後は何にも關係ないことにしやう。しかし、この錦州でとやかく言ふことだけはない樣にな」

「…………」

「まさかそこまで私の顔に泥ぬる樣なことをする人間ではないとは思ふがね」

「色々ほんとにお世話になりました」

「ぢやわしや三時の汽車で、興城に行つてまつてゐるから、ね、例の旅館だよ」

「はい」

「別れだから……」

「………」

それきり花屋さんの家は靜になつた。恐らく花屋さんは手をついてうなだれてゐるであらうし、山本ガス氏は、いかめしい顔で、じつと天の一方をにらんでゐるであらうと桂吉は想像した、それにしても興城へ行く約束をした初子がにくく思はれた。

やがてドアがあいてガス氏はかへつて行つたらしかつた。

桂吉は默つてはいつて行つた。

「きいた？」

「うむ」

「今日だけは行かしてね」

「何も私にことわることないだらう」

「さう」

「何も……だが淋しくはあるね」

「………」

「過去は過去としてせめてこれからなりと、いやそんなことの言へる義理でもないけれど……結婚出來ないでもやつぱり人には潔べき性を求めると言ふものはあるね、」

「許せる、」

「許せないね僕は、利己主義だ。或る意味で戀愛は最利己的な事象だと思ふね」

「だつて約束してしまつたし。」

書架

奔放の構想

岡本かの子「生々流轉」（『文學界』十一月號）

先月號所載の分で完結かと思つたが、さうではなかつた。作者の構想は愈よ奔放で、この號では東京の相當富裕な家に育つた娘が家出をして、今や乞食になつてゐるのである。それもわれと自ら好んで、その生活に入り、啞の眞似をし、白痴を裝ひ色んな乞食の中に混つてゐるのである。

この構想だけでも、作者の藝術家的資質はわかるといふものであらう。一人の女性の運命を描いて、この境地にまで追ひ込んだ作者の精神は殘虐にまで見えつゝ光り輝いてゐる。これは流轉でありつゝ躍々たる生命の息吹きを持つてゐる。かがやける遺作、逝ける作者への哀惜は切である。（御垣衞士）

學藝消息

△三宅豐子氏奉天市高千穗通廿一光陽ビル十七號に轉居

・・新京の・・張喬治　映書「日出」乃至本欄の「日出」を見た人は知つてゐようが、あの中に張ヂョヂといふ醉つてペラペラ英語をしやべる男が出て來る▼あれの眞似のうまいのが、輝けるわれらの滿人作家の一人の小松君である、身體は小柄だが、お酒を召してあれをやり出すとあたりの者もすつかり食はれてしまふ▼滿映の諸君が「日出」を演るといふんだが張喬治の役はまさに小松君を以てするがよいとの定評……

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△月刊滿洲（十一月號）
金子定一「西洋は戰爭東亞は新建設」田村敏雄「食糧問題の兩面性」天野光太郎「滿洲國歌作曲史話」五百木元「駐滿大使館新參事官須磨氏を語る」田村光子「吉林・淸淸」不敢當「一味棲雜筆」和田夜詩緒「ノモンハンの空を征く」小林實「干柿と戰車」多賀谷三郎「東邊道の鐵山」坂木喜男「燕京八景」山脇敏子「新京から東京まで」外に皇軍勇士慰問特輯、くさめをするべイジその他が二八八頁に盛られてゐる（新京崇智胡同六〇一、月刊滿洲社、五十錢）

△滿洲鐵道建設祕話　大衆向きに題名通りの記事を集めたものである、一萬キロ突破記念に作られたものであらうが些か系統を缺き學問的、史的資料に乏しい憾みを免れぬ（南滿洲鐵道株式會社、非賣品）

△海（九月號）寺崎浩「哈爾濱の印象」がある（大阪商船株式會社）

皆様眼鏡の調子は如何ですか?事務を執るにも勉強するにも大陸建設に鍬を振ふも目に異常あつては能率増進を妨げます、當店に眼鏡全般御相談下さい詳しく御説明申上ます又双眼鏡、望遠鏡、磁石、擴大鏡其他種々取揃へて御座ゐます

兵隊さん五分割引致します

市立病院眼科御指定

岡田眼鏡店

新京吉野二 甲 電③二四三八

AMAGURI TARO 甘栗太郎

甘栗太郎の甘栗羊羹

新京銀座 電話(3)二八八七 三七七八

古本買入

古きを賣つて新智識を!

東一條通一六

巖松堂古典部

電話(3)三八四二番 五五五四

銘酒 菊蘭の酒場

大衆的 和洋食堂

近代的 喫茶店

ダイヤ街

朱雀

老松町角 (3)四六二九

アドース

下痢速効

惡病流行 腹工合悪き時はスグ

A 1403

時節向き 博多式 水たき

天婦ら

福天

銀座新道 電三六六〇三

満洲ライオン歯磨株式會社 設立に就き謹告

謹啓 清秋の候愈々御隆昌の段大慶に奉存候弊社儀毎々格別の御眷顧を蒙り難有奉鳴謝候

弊社製品儀、御蔭を以て内地は元より、海外輸出に於ても最近著しき發展を見るに至り候段寔に感謝に堪へず候 殊に滿洲方面に於ける販路の躍進著しきもの有之、日滿支一體經濟建設戰下にあつては弊社從來の奉天駐在所の機構を以てしては到底江湖各位の充分なる御滿足に副ひ兼ぬる實情と相成候 就ては今般新に左記の陣容により、**滿洲ライオン歯磨株式會社**を設立仕り、本社を奉天に設けて、滿洲國に於ける弊社營業の一切を十月廿一日より右新會社に移管し、以て各位の御期待に副ふやう專心努力可仕候間何卒弊社同様御愛顧御引立に預り度奉懇願候

先は右御披露旁々御挨拶迄如斯に御座候 敬具

昭和十四年十月吉日

ライオン歯磨本舗 株式會社 小林商店

社長 小林喜一

滿洲ライオン歯磨株式會社

社長 小林喜一
常務取締役 吉田武夫
取締役 山崎麻吉
同 小林寅次郎
同 神谷市太郎
監査役 白井仁三郎
相談役 小林富次郎
營業部長 平内眞治
次長 筒井善三郎

(奉天市大和區浪速通十八、高橋ビル)

上聞に達す
下野部隊の偉功

【東京國通】ノモンハン戰に下野部隊はソ聯空軍擊滅の一翼を承つて絶大な戰果を收めたが今回植田關東軍司令官から授與された輝く感狀は二十四日上聞に達した旨大本營陸軍部から發表された、同部隊の下野部隊長は支那事變勃發當初大陸で活躍北支中支に敵軍を蹂躪した陸の親鷲で途中一旦內地へ歸還したが再び滿蒙國境空の鎭めの重任を負つて渡滿したものである

畏し天皇陛下國民體育大會行幸

【東京國通】畏くも天皇陛下には來る明治節の前日十一月二日明治神宮に御參拜の御途次體育御奬勵の畏き思召しから外苑競技場において行はれる第十回明治神宮國民大會へ行幸あらせられる旨廿五日仰出された

紀元二千六百年祭 橿原神宮へ饌米獻納
來月七日を期して在京鄉軍を召集
全滿から一勺 孟家屯まで遞送

明年光輝ある二千六百年祭を迎へ帝國在鄉軍人會滿洲聯合支部ではこれを奉祝記念し全滿各分會より饌米一勺宛を橿原神宮に奉獻することゝなつた、而してこれが饌米は唐櫃に納められ鄉軍の手によつて各分會から分會へとつぎ〳〵全滿を遞送し安東に於てその全部が集合、朝鮮を經て一路橿原神宮に奉獻されるのである、この行事をして一段嚴肅に意義あらしめ延いては非常時第一線鄉軍の意氣を昂揚するため在鄉軍人會新京聯合分會並に首警、大使館兵事員共同主催の下に來る十一月七日在京鄉軍に模擬演習召集を行ひ奉獻饌米を遞送することゝなつた、即ち新京以東並に以北哈爾濱、吉林等各地分會よりの奉獻饌米は十一月六日夜到着新京神社に奉安し、次いで新京分會の奉獻米を納め翌七日午前八時を期し在京鄉軍を召集、同九時三十分より神社にて奉獻饌米修祓式を嚴肅に執行の後、召集部隊より武裝する警衞大隊を編成しこの警衞部隊を中心に全召集部隊は奉獻の唐櫃を警衞して午前十時神社を出發

滿鐵支社前—敷島通—西三條通—兒玉公園裏—康平街—東萬壽大街—安民廣場—和平街—順天大街—興仁大路—盛京大路

を經て午後一時孟家屯驛に到着、次の分會へ遞送せんとするものでこの日の盛儀を豫想されてゐる、尚召集部隊の集合位置は次の如くである

▲第一分會 自三笠町地先至吉野町同、概ね二個大隊▲第二分會 自吉野町地先至保健所前、▲第三分會 自保健所前、至中央通警察署前、以上概ね二個大隊、▲第五分會 自中央郵政局前、至室町地先、概ね二個大隊、▲電業分會 自室町地先、至帝國生命前、▲電々分會 自帝國生命前、至圖書館前、以上概ね二個大隊、▲第四分會 木村洋行前、▲滿炭分會 ヤマト商會前、▲中銀分會 滿洲新聞社前以上概ね二個大隊、▲軍第一分會 水上洋行地先、▲第二分會 山崎齒科前、▲第三分會 世界堂前、▲第四分會 勝又洋服店前、▲第五分會 兒玉公園前、以上概ね一個大隊、▲治安部分會 中央通八島通交叉點空地、▲滿拓分會 同右に接す、以上概ね一個大隊、▲官廳分會 自國防會館向側至關東局正門、以上概ね二個大隊、▲會社分會 自關東局正門、概ね一個大隊

寒度に應じて焚き方研究せよ
協和會本部から注意

協和會首都本部が全國に魁けて實施した低溫生活運動は寒さに震へ乍ら然し時局を認識した全市民の誠意に依り好成績を收めて二十五日限り終了愈よ二十六日よりは採煖期に入り全市各戸のスチームには一齊に暖かい蒸氣が通ふことゝなつてゐるが協和會中央本部は本運動の趣旨は物質よりも精神的方面に重點を置くものであり、二十五日市民に左の如く一層の緊張を促がす注意を發した

この度の低溫生活を通じ市民に充分國民訓練としての眞の體驗を味つて貰ひ度い尚採煖期に入つたからとて何も急に石炭をたかねばならぬといふ譯ではなし、出來得るかぎり我慢して低溫生活の徹底されんことを望んでゐる、今迄に既に採煖して居つたものは隣保共助的精神に依りすまないといふ氣持から將來出來得る限り節約して貰ひたい、石炭を消費せず自分の家から煙の上らない事を時局を認識した國民的一つの誇りに迄導き度いものだ【寫眞は採煖前に山と積まれた石炭】

配炭準備は上々!
貯炭場增員して待機

廿六日の採煖開始を控へて新京東五條通り日滿商事貯炭場では石炭販賣組合と協力、三萬二千平方米の廣い構內一杯に三萬四千噸の石炭の山を築いて「さあ來い」と張り切つて待機してをり、九月改組したばかりの石炭販賣組合としても開業早々懸命の準備を進めて來たことゝて「これからが本當の御奉公だ」と電話を三本急增したほか、專用馬車を三百臺、荷積苦力を二百名にそれぞれ增し約百名の職員總動員下に康德會館等月二百噸も使ふ大口どころへは既に配給を終つたといふ勉強ぶりだ、なほ一般家庭にも「廿六日になつて急に間誤つかぬやう充分手配濟みです」と自信たつぷりである、右につき笹部石炭組合支配人は語る

住宅難が煉瓦製造に拍車をかけたため何時も閑散な筈の夏場からこのところずつと忙しく準備が遲くなつて心配してゐるのですが、節炭運動で採煖期が遲れたためやつと間に合ひました、國策に沿つて節炭が徹底してゐるやうですから配給不足になるやうなことは決してないと思つてゐます

暖かければ焚きません
日滿商事語る

石炭の總元締日滿商事本社を訪へば、流石に寒さうな顏もなく「この暖かさが續く限り此處では何も焚きませんよ」と堀燃燒指導班主事は今まで風呂や炊事用の石炭を出すには出してをりましたが、その量は大體當方で見積れますので一噸の申込みなら半減するといふやうに貯炭場と石炭販賣組合と協力して配給を抑へて來ましたが、廿六日からはい

―さアけふから採炭! 但し節約從來通り―

よいよ御希望通りの配給が出來るつもりです、然しさう言つても國策ですから餘り急に澤山お焚きにならぬやうに、また廿九日から新京三中井側に開設する「燃燒相談所」を御利用になつて焚き方の合理化を圖つて戴きたく、完全燃燒さへすれば採煖にもよく、また煤煙も少くなつて新京の嫌な名物の一ツもなくなるといふ一石二鳥の效果があることを充分理解して戴きたいものですとぬかりなく節炭を強調してゐる

寒さは踊つて…

「寒さは踊つて防ぎませう」と節炭運動の揚手に乘出さうだつたダンスホールの用意を新京會館に訊ねると曰く焚いても宜しいのですか、それでは早速ビルの事務所に相談して焚かせて戴きませう、なにしろダンサーが毎日一割位宛風邪をひくので休まれたり咽喉に繃帶して色氣のない恰好して白い息をはきながら踊るのでは餘り感じが出ませんからね……

市立病院では

市立病院では三百名の患者を擁して節炭運動の治外法權この十八日の寒さから既に病室にだけはスチームを通してゐるが、それでもなほ此處では一ヶ月平均十噸半ほどの石炭が要るのですがなにしろお國のためです患者さんは仕方がないとしても事務所や醫員の方には辛抱を願つて出來るだけは焚かぬ覺悟でをります

鐵脚出でよ!
耐寒十哩走破
體聯主催 明治節卜し擧行

擧國一致節炭運動に呼應して體育聯盟陸上競技部では市民の參加を求めて十哩耐寒マラソン大會を來る十一月三日明治節の佳日を卜して擧行する事になつた、同大會の要項は次の通りである

一、出發 午後一時
一、資格 新京特別市在住者にて登記完了者
一、集合時間及場所 兒玉公園競技場前に午後零時三十分集合
一、申込は十一月二日正午までに氏名、年齡所屬を明記し市公署內體育聯盟新京事務局宛申込の事
一、走路 兒玉公園競技場前出發—大同大街—建國廣場—安民大路—興亞街—興安大路—大同大街—兒玉公園競技場に至る十哩コース

英靈へ"俸給獻金"
關東軍全部隊 一日戰死の熱誠

興亞建國の礎石となつた護國の英靈に對し關東軍全部隊は雇傭員に至るまで擧つて「一日戰死」の至情を捧ぐることになり一日分の俸給を新に結成された大日本忠靈顯彰會に獻納すると共にその一半を在滿忠靈塔の管理並に忠靈顯彰のため關東軍司令部內にある財團法人忠靈顯彰會に獻金すべく每日管下各部隊から續々と送金して來て關係者を痛く感激させてゐる

必死の消火作業
防火宣傳第三日 成果收めて終了

防火宣傳第三日行事熊平商行主催の消防出動演習及び救助作業は廿五日午後一時半より中央通警察署構內裏において行はれた、定刻前より參觀人は會場をうづめ先づ模擬家屋にアットウ消火器を備付け後燒夷彈一キロエレクトロンを投下火災を起したが忽ち自然消化し觀衆はやんやと喝采、更に煉瓦造り家屋に建具や疊を敷き簞笥や下足箱、座布團等の家具を入れて消火器を据置き石油を以て火災を起した後觀衆より三名の臨時家庭防火班員が出て活躍遂に完全に消火せしめ多大の成果を收めて二時半散會した

なほ本演習中日本消火器製作所の代表社員の松本敏夫氏が終始說明し參觀人に多大の防火知識を普及したが本演習は日本消火器製作所が關東州廳防空課斡旋のもとに大連に出張自爆式アットウ消火器の消火性能實驗を去る十四日より二十八日まで連續行ふ豫定の內二十五日特に來京同演習を擧行したものである【寫眞は消火演習】

精酒の空びん
管外搬出を禁止
飢饉、値上りを封ず

首都新京に於ける精酒瓶詰數量は都下四製酒場で九十萬本の大量數に及んでゐるが其の中日本、朝鮮からの瓶詰精酒の空瓶を再使用してゐたもので先般朝鮮入荷の精酒が一律に移出禁止になり大量需要地であつた滿洲國への移入が止つたために從前の如く市內に氾濫してゐた朝鮮製精酒空瓶が街から姿を消すに至つたために現在では日本內地からの移入品のみであり値段の點からして朝鮮精酒の樣に販路が限られてゐるので酒の空瓶が從前の樣に容易に業者の手に入らぬ事となつた

加ふるに四平街、奉天兩地にある多數酒造工場の空瓶需要は益々激增する一方であり萬一首都新京內にある空瓶がこれら精酒工場に搬出される樣な場合は新京の精酒工場の瓶の補給が出來ず愛酒家にあつては一大事と首都警察廳經濟保安股ではこの空瓶飢饉を未然に防止するために過般來管外移出の有無を調査中であつたところ四平街及び奉天に向けて業者が大量の搬出を行はんとしてゐた事を探知發送前に抑へる事が出來たもの、空瓶不足は益々熾烈化されるものでありために空瓶の價格高騰は火を睹るよりも明らかな事で業者側が高利に管外酒造工場に賣りつけるために管外搬出を防止するべく當局では今後酒空瓶一切の管外搬出を禁止するために搬出禁止令を二十五日より施行實施する事となつた萬一右禁止令を犯した場合は暴利取締令第六條に依つて處罰されるものである

九萬七千余圓
海軍への國民赤誠

今次支那事變に於ける帝國無敵海軍に對する國民感謝の赤誠は有形無形となつて現はれ海軍當局を痛く感激させてゐるが本年一月から十月二十五日まで新京海軍武官府を通じ國防獻金並に恤兵金として獻納した金額は九萬七千六百五十四圓四十九錢に達してゐるこのうち十月一日から廿五日までの獻金合計は八百六十圓に上りその內譯は左の如くである

△十圓(營口市千代田街岸ヨネ)△五十圓(哈爾濱道裡警察街二三號ノ一六早井幸)△百圓(郵政局監察官室高橋富十郎)△五百圓(新京室町二丁目五、新京無盡株式會社代表辻藤)△五十圓(新京特別市新發路、交通ビル三〇七號藤永昌弘)△五十圓(新京東五馬路三十九號地黑川春三)

貨車に生首
バラ〳〵事件?

二十五日午前十時五分頃東新京驛貨物連結手蒲克殿(二二)君が貨物連結中第八番線に停車中の無蓋貨物列車上に腐爛した生首あるを發見吃驚仰天して同驛警護隊分所に屆け出た、急の知らせに同隊では首都警察廳及び地方檢察廳に連絡、現場に急行檢證した結果年齡男女何れとも判斷し難いが後頭部に三、四個所銳利な刄物で突き刺した傷があり貨車に夥しい血痕が付着してゐる點などから推して他殺と認定した、警護隊、首警司法科では謎の生首を續つてそれぞれ活動を開始したが、犯人は犯行を晦す手段として生首を貨車に、他をバラ〳〵?に切斷して何れも異つた地點に運び去つたのではなからうかとも思はれるが肝心の犯罪場所が判然とせず今のところ兩搜査本部も五里霧中のやうであるがこの怪奇を極める謎の滿洲バラ〳〵事件は如何に發展解決されるか、異常な注視を集めてゐる

●興銀二課長挨拶●滿洲興業銀行庶務課長花尾開造、同管理課長栗田二郎兩氏は二十五日挨拶に來社

●難波造兵所理事挨拶●株式會社奉天造兵所理事難波義雄氏は二十五日挨拶に來社

●新中央電話局長挨拶●新任新京中央電話局長梅田正二氏は二十五日挨拶に來社

●中川三郎來社●廿六日より長春座で公演するタップダンサー中川三郎は滿映田邊澄夫氏の案內で廿五日挨拶に來社

中央通の財前刑事仲々責任觀念の強い人▼署の刑事室にこの二、三日前から右手を繃帶して悄然と出勤してゐる▼「どうしました?」と問へば「何に硝子でやりましてネ」と▼冬も迫つて來たので二重窓のガラスを拭いてゐた所が足元が崩れて右手を窓に突込んだものださうだ▼處で「家庭の美化と云ふ事に努めた結果、大事な公務が思ふ樣に出來ないので全く申譯がないと思つてゐます……」▼とこれでこそ!街の刑事と有難がられると云ふもの

けふの天氣 南西の風弱く晴
きのふの氣溫 最高一六度四 最低〇度四

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎 作　中島喜美 畫

(百八十七)

魔都上海（7）

間もなく、靖吉は灰ソフトの注進で、車をキャピトル座につけ歩道に歩り立つた。

つよい光に、圓柱の列がまつしろに見え、裾を、絨緞の反映が淡紅いろに射あげてゐる。

しかし今夜は、すべてが一本の主流となりこの劇場に注がれるのだ。

四馬路の雜沓。

どうみても、莽鄕あたりのインテリらしい靖吉。

そして此處は、砲煙をよそに大歌劇がひらかれてゐる。ちやうど、第三幕が終つたばかりのところで、幕合ひの廊下は、遊歩場のなかまで人の波であつた。

わづらはしい、オペラの作法が、この騷ぎのなかでも、根氣よく繰りかへされてゐるところが、場内に入つて最初の騷きといふのは、意外にも、伊太利俳優が一掃されてゐることであつた。

『なに、ヴエネチア艦隊司令官オテロ・ロムアルト・ジユーペーだと。驚いた、あの優男がオテロをやるなんて、聲も姿も、女のやうなジユーベが……、が演るに事かいて、小山のやうなオテロを……』

それは、防共一聯排擊の聲であらうか、しかし、靖吉は素知らぬ顏で着席したのである。

そのとき、開幕をつげる、電鈴が鳴りわたつた。

樂士が、管絃樂席のなかで樂器をしらべる音が、しだいに高まる人聲にまじつて聽えてきた。

やがて、譜台を叩く、指揮者の合圖に灯りが消え、脚光がいつせいに緞帳を蹴あげた。

かくて、ヴエルデイの「オテロ」の第四幕「デスデモナの寢室」の幕があがつたのである。

『歐のおもづりは、いかゞ？』

ちやうど、エミリヤに扮する、次中女音が唱ひかけたときであつた。

よく、虹の座とか云はれる對岸の張出棧敷に、眞白な、かゞやく微妙な姿が現はれたのである。

靖吉は思はず、あつと叫んだ、と、そのとき——

それは、夢ではないかと思はれる——弓子ではないか。

（あつ、弓子、）

しかし、いくら眼をこすつても、斷じて夢ではないのである。

のみならず、背後にゐる支那服の二三人をみると、いまは、もう疑へぬ危險に落ちてしまつたことがわかる。

（馬鹿、）

と、心のなかで叱りつけるやうに、さけぶ。

いつもの癖で、怖いもの見たさにやつて來たのだらうがどうして、そんな輕はずみを伸子は止めなかつたのか。

大兒もゐる。

あいつも、馬鹿圖々しいが常識だけはあるはずだ。

と、胸は溺きかへるが、なんの思案も出ない。

たゞ、弓子がいま捕へられてゐること、それから、つかまへたのが闇の一味であつて殺すより、富豪の令孃と知り金と代えやうと計るのではないか。

と、その張出棧敷に、續いて意想外な人を見た。

シャルパンチイエ。

もう、疑ひもなく聯朋社だ

（よし、）

と、眉宇を決して靖吉は立ちあがり、しばらく經つたころ、やつと坐席に戻つてきた

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時二十分
△釜山行	八時十分
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時卅分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十分
△大連行	十一時五分
△奉天行	十一時卅分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△三棵樹行	前三時四十二分
△窰門行	五時五十五分
△三棵樹行	六時三十分
△三棵樹行	八時十五分
△三棵樹行	九時
△三棵樹行	後十二時五十分
△三棵樹行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十分
△窰門行	七時十分
△三棵樹行	十時五十分
△三棵樹行	十一時五十分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時十五分
△羅津行	八時四十分
△圖們行	十時四十分
△吉林行	後一時五十五分
△敦化行	三時卅五分
△吉林行	九時十分
△淸津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時五十五分
△前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發驛	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時廿七分
△大連發	八時
△四平街發	八時四十六分
△四平街發	九時卅九分
△四平街發	十時三十分
△釜山發	十一時四十二分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時十五分
△奉天發	九時十六分
△釜山發	九時卅五分
△奉天發	十一時卅分

◎哈爾濱方面より

發驛	時刻
△窰門發	前零時十五分
△濱江發	二時二十分
△三棵樹發	六時五十三分
△窰門發	十時五十七分
△三棵樹發	後十二時卅八分
△哈爾濱發	一時三十分
△三棵樹發	三時十分
△濱北發	六時卅九分
△濱江發	八時十六分
△三棵樹發	九時二十分
△濱江發	十時四十五分

◎圖們方面より

發驛	時刻
△淸津發	前八時
△吉林發	十一時五十分
△敦化發	後二時十五分
△吉林發	四時四十分
△圖們發	七時三十分
△羅津發	九時廿五分
△吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發驛	時刻
△前郭旗發	前十二時一分
△白城子發	六時卅二分
△白城子發	九時五分